

令和4年度入学生1年次開講

シラバス

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科専門科目

音楽表現技術基礎	柚木 たまみ 松井 典子 他	202P
音楽表現技術Ⅰ	柚木 たまみ 松井 典子 他	204P
音楽表現技術Ⅱ	柚木 たまみ 松井 典子 他	206P
子どもの造形保育	深尾 秀一	208P
幼児体 育	山中 博史	210P
情報処理基礎Ⅰ	林 泰子	212P
教育原理	李 霞	214P
保育原理	永久 欣也	216P
子どもと言葉	保田 恵莉	218P
子どもと人間関係	保田 恵莉	220P
子どもと環境	久米 央也	222P
子どもと造形表現	深尾 秀一	224P
子どもと音楽表現	松井 典子 柚木 たまみ	226P
子どもと健康	北尾 岳夫	228P
領域指導法（表現）	三上 佳子 深尾 秀一 柚木 たまみ 松井 典子	230P
領域指導法（言葉）	保田 恵莉	232P
領域指導法（環境）	久米 央也	234P
領域指導法（健康）	北尾 岳夫	236P
保育内容総論	三上 佳子	238P
乳児保育Ⅰ（①）	内藤 幸枝 杉田 のり子	240P
乳児保育Ⅰ（②）	内藤 幸枝 杉田 のり子	242P
障がい児保育	廣野 俊輔	244P
多文化共生の保育と方法	永久 欣也	246P
子どもの保健	上田 香	248P
子どもの心理学	菅 眞佐子	250P
社会福祉	岡本 芳也	252P
子ども家庭福祉	楊 慧敏	254P
社会的養護Ⅰ	木塚 勝豊	256P
社会的養護Ⅱ	大久保 和久	258P
幼児教育保育学入門	三上 佳子 松村 都子	260P
保育実習指導Ⅰ（①）	三上 佳子 永久 欣也 保田 恵莉 松村 都子 松井 典子	262P

保 育 実 習 指 導 I (②)	三 上 佳 子 永 久 欣 也 保 田 恵 莉 松 村 都 子 松 井 典 子	264P
保 育 所 実 習 I	三 上 佳 子 松 村 都 子 松 井 典 子	266P
施 設 実 習 I	永 久 欣 也 保 田 恵 莉	268P
保 育 リ ー ダ ー 論 I	三 上 佳 子	270P
公 務 員 教 育 保 育 職 特 別 講 義 I	久 米 央 也	272P

幼児教育保育学科選択自由科目

公 務 員 特 講 I (幼 教)	長谷川 正 雄	274P
公 務 員 特 講 II (幼 教)	長谷川 正 雄	276P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽表現技術基礎	柚木たまみ(専任) 松井典子(専任) 他	1年次	前期	1	講義	必修	○
							実務経験
							○
Basic of Music Expression skill							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・幼児教育・保育における音楽表現実践のための基礎技術と知識を身につける。 ・楽譜を読むための基礎知識・理論を理解する。 ・歌唱においては、階名（ドレミ）で音の高低を認識し歌うことができる。							
授業の内容 幼児教育・保育の実践に必要な音楽表現技術の基礎を修得するための授業である。 ピアノの弾き歌いや歌唱をするために、楽譜を読む知識と基礎技能を身につける。 教員は、長年にわたる演奏家・音楽教育者としての経験を活かし、音楽表現技術を指導する。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子典子他（三学出版） 価格（本体2,100円＋税） 『楽譜が読めるステップ12』 甲斐彰（音楽之友社） 価格（本体1,600円＋税）						
参考書	必要に応じて授業で紹介する。						
担当者からのメッセージ	知識や技能修得のためには宿題を確実にこなすことと自主練習が必要です。 幼児教育・保育の現場では音楽を通して子どもたちの表現する力、ともに楽しむ力が育っていきます。保育実践力の基礎を楽しみながら身に付けてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	プリントを配付し授業内や回収添削をする。 質問内容については授業内に共有できるようにする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業においてプリントと実技の課題により理解度・習熟度を確認する。				
	小テスト						
	定期試験	50	実技試験と筆記試験を実施し理解度と習熟度を評価する。				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	金曜日 12:20～12:50 柚木研究室 その他随時受け付ける。事前にメール予約が望ましい。 水曜日 12:20～12:50 松井研究室						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） n-matsui@sumire.ac.jp（松井）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	授業内容とねらいの理解 楽譜を読む知識(音符と休符、音の長短、リズム)	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング	30
2 /	楽譜を読む知識(音符と休符、音の長短、リズム) 童謡 ソルフェージュ	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング 実技練習	60
3 /	楽譜を読む知識(音符、音の高低) 童謡 ソルフェージュ	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング 実技練習	60
4 /	楽譜を読む知識(拍子とリズム) 童謡 ソルフェージュ	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング 実技練習	60
5 /	楽譜を読む知識(速度記号・速度標語) 童謡 ソルフェージュ	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング 実技練習	60
6 /	楽譜を読む知識(発想標語・その他の記号) 童謡 ソルフェージュ	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング 実技練習	90
7 /	楽譜を読む知識(試験に向けて総括) 童謡(試験に向けた練習) ソルフェージュ(試験に向けた)	柚木 松井 松澤	講義・演習	講義ノート作成、プリントファイリング 実技練習	90
8 /	振り返り ソルフェージュと歌唱の実技試験 理論筆記試験	柚木 松井 松澤	講義・演習	試験準備	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽表現技術 I	柚木たまみ(専任) 松井典子(専任) 他	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music Expression skill I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 童謡のレパートリーを増やし、クリアな歌唱演奏ができる。 ・ 童謡弾き歌いのレパートリーを増やし、クリアなピアノ演奏ができる。 ・ 音楽理論の知識(調性と音程)を身につける。							
授業の内容 音楽表現技術基礎で修得した知識・技能をもとに、ピアノを演奏する基礎技能を身につける。 幼児教育・保育の現場で使用される童謡を課題に取り上げ、レパートリーを増やし実践に役立てる。 また、人前で演奏発表することに慣れ、実践力を身につける。 クラス授業〔45分〕では童謡の歌唱レパートリーを増やす。自然な発声で表情豊かに歌うとともに、言葉の発音や意味にも言及しながら学修する。また、歌唱や楽器演奏時に必要な調性と音程、基本三和音についての理論を学ぶ。 ピアノレッスンは一人15分の個人レッスンを行う。個々の習熟度に応じて、グレード別の課題を進める。 教員は、長年にわたる演奏家・音楽教育者としての経験を活かし、音楽表現技術を指導する。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税) 『楽譜が読めるステップ12』 甲斐彰 (音楽之友社) 価格(本体1,600円+税) 『ピアノへのアプローチ4steps』 伊藤嘉子 (音楽之友社) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	ピアノ教則本に関しては、ここの到達技術等によって提示する。						
担当者からのメッセージ	毎回の授業、ピアノ個人レッスンに向けて、毎日コツコツ練習をしていきましょう。練習の積み重ねが上達の近道です。学外実習に向けて、童謡レパートリーを増やすことにもつながります。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	音楽理論については配付プリントをもとに授業内および回収添削を行う。 歌唱とピアノの実技については、個別のアドバイスを欠かさない。スキルアップする方法をコメントし、次の課題消化へのヒントとなるようつなげる。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業においてプリントと実技の課題により理解度・習熟度を確認する				
	小テスト	20	音楽理論の筆記試験を8回目の授業内に実施し、理解度を確認する				
	定期試験	50	歌唱と歌唱とピアノの実技試験を実施し、音楽表現技能の習熟度を確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	金曜日 12:20~12:50 柚木研究室 その他随時受け付ける。事前にメール予約が望ましい。 水曜日 12:20~12:50 松井研究室						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木) n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	音楽表現技術基礎での学びの発展である内容 とねらいの理解 音楽理論(長音階と調号) ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	120
2 /	音楽理論(長音階と調号、基本三和音) 童謡の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	180
3 /	音楽理論(長音階と調号、基本三和音) 童謡の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	180
4 /	音楽理論(音程：完全系) 童謡の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	180
5 /	音楽理論(音程：長短系) 童謡の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	180
6 /	音楽理論(音程：派生音) 童謡の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	180
7 /	音楽理論(長音階と音程ふりかえり) 童謡の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	210
8 /	理論筆記試験 童謡の練習(定期試験に向けて) ピアノ個人レッスン	柚木 松井 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成、ファイリング 歌唱、ピアノ練習	210
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽表現技術Ⅱ	柚木たまみ(専任) 松井典子(専任) 他	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music Expression skill Ⅱ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・コードネームの理論を理解して伴奏付けができる。 ・保育実践現場で通用する童謡の弾き歌いができる。							
授業の内容 音楽表現技術Ⅰを踏まえ、さらに学外実習や就職後の実践に役立つ演奏技能を修得する。 コードネームの理論を理解し、伴奏付けの即興力、応用力を身につける。 また、人前での演奏に慣れるために発表の場を多く設け、対応力を身につける。 教員は、長年にわたる演奏家・音楽教育者としての経験を活かし、音楽表現技術を指導する。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税) 『楽譜が読めるステップ12』 甲斐彰 (音楽之友社) 価格(本体1,600円+税) 『ピアノへのアプローチ4steps』 伊藤嘉子 (音楽之友社) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	ピアノ教則本に関しては、個々の到達技術等によって判断し提示する。						
担当者からのメッセージ	保育現場で弾き歌いをするを想定して、多くのレパートリーを身につけましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ピアノレッスンと授業内での発表の場では、到達できている点と課題解決方法、さらなるスキルアップのためのポイントをコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	実技課題による理解度・習熟度を確認する				
	小テスト						
	定期試験	50	弾き歌いの実技試験を実施し、音楽表現技能の習熟度を確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	金曜日 12:20~12:50 柚木研究室 その他随時受け付ける。事前にメール予約が望ましい。						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	音楽表現技術 I での学びからの発展である内容とねらいの理解 音楽理論(コードネームの基礎)	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	90
2 /	音楽理論(コードネーム、八長調のスリーコード) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
3 /	音楽理論(コードネーム、八長調のスリーコード) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
4 /	音楽理論(コードネーム、セブンスコード) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
5 /	音楽理論(コードネーム、マイナーコード) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
6 /	音楽理論(コードネーム、ディミニッシュコード) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
7 /	音楽理論(コードネーム、オーグメントコード) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
8 /	音楽理論(コードネーム、ト長調) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
9 /	音楽理論(コードネーム、ヘ長調) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
10 /	音楽理論(コードネーム、ニ長調) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
11 /	音楽理論(コードネーム、変ロ長調) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
12 /	音楽理論(コードネーム、他の長調) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
13 /	音楽理論(コードネーム、ふりかえり①) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
14 /	音楽理論(コードネーム、ふりかえり②) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
15 /	音楽理論(コードネーム、実技試験に向けた練習) 弾き歌い課題曲の伴奏付け	柚木 松澤 他	講義・演習	講義ノート作成 弾き歌い練習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの造形保育	深尾 秀一(専 任)	1年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Creative Art for Children							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・保育における実践的展開を支える基礎技能として、造形表現の基本的な、空間、形、質感、量感、構成などを学び理解する。 ・作品制作体験を通して、造形分野でこどもの表現を積極的に展開できる基本的事項とその要因を理解する。 ・自らの感性を磨き、造形分野での表現を積極的にできる。							
授業の内容 造形表現の分野の、空間・形・構成の基礎について学ぶ。様々な素材を使いながら立体作品や版画を制作することにより、材料や用具の特性や取り扱いに慣れるとともに、造形表現活動の楽しさを感じ、自らの感性や表現力を磨く。併せて、幼児の表現の姿やその発達理解と幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	なし						
担当者からのメッセージ	毎回授業の初めに課題制作についての説明を行います。制作のための汚れてもいい服装など準備も大事なポイントです。教科書は子どもと造形表現で購入したものを使います。積極的に課題制作に取り込みましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業態度を評価する				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	課題作品				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時30分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@st.sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	第1回目の授業を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】		子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。				
	(幼DP2)【専門性をいかす技能】		保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	土粘土による表現1 粘土であ遊ぶ	深尾	講義と演習	土粘土の特性をしっかりと学んでおく	90
2 /	土粘土による表現2 作品の組み立て	深尾	講義と演習 課題作品制作	乾燥の進み方に注意し湿度を調整しておく	90
3 /	土粘土による表現3 成形の完成	深尾	演習 課題作品制作	組み立てられた作品の乾燥度合いを調節し素焼きまでしっかりと乾燥させる	90
4 /	枝や木の自然物を使って1 木片材料の切断	深尾	演習 課題作品制作	道具の使い方をまとめ、実際に使えるように理解する	90
5 /	枝や木の自然物を使って2 組み立てて完成	深尾	演習 課題作品制作	必ず授業前までに、部品の木片を切断して組み立てできる状態にしておく	90
6 /	版画による表現1 紙版画版の制作	深尾	演習 課題作品制作	授業をまとめ、版画制作方法をしっかりと理解する	90
7 /	版画による表現2 スチレン版画版の制作	深尾	演習 課題作品制作	紙版画 スチレン版を完成し、刷り前日までにのりを乾燥させておく	90
8 /	版画による表現3 紙版画、スチレン版の刷り	深尾	演習 課題作品制作	刷りを行った状況や、環境設定をまとめる	90
9 /	紙を使った表現	深尾	演習 課題作品制作	紙による、3次元表現の可能性についてまとめておく	90
10 /	グリーティングカード1 構想と試作	深尾	演習 課題作品制作	立体カードの基本を考えておく	90
11 /	グリーティングカード2 完成	深尾	演習 課題作品制作	相手の情報や、相手への思いをカードの表現する手法を調べておく	90
12 /	総合技法による表現1 保育の構想	深尾	演習 グループワーク 課題作品制作	表現の技法集を参考に原画を完成させる	90
13 /	総合技法による表現2 教材及びオブジェの制作	深尾	演習 グループワーク 課題作品制作	教材や部品を完成させる	90
14 /	総合技法による表現3 作品の完成と展示	深尾	演習 グループワーク 課題作品制作	課題制作をとおして学んだことをまとめる	90
15 /	表現についての総括	深尾	講義	造形表現の基本を再度確認し、まとめておく	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児体育	山中 博史(専 任)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Physical Education and Exercise for Children							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・子どもの遊びが運動やスポーツにどのように発展していくのかを理解する。 ・子どもの遊びを安全にかつ楽しく指導するための指導技術を身につける。 ・できない事ができた時の喜びや達成感、できない時のくやしさを理解・共有することができる。							
授業の内容 幼児期の運動あそびや表現あそびは、身体や運動能力の発育・発達のみならず、社会性や情緒の発達にも深く関係しており、これらの子どもの活動への保育者の関わりは、子どもの全人的な育ちに影響を及ぼすことが考えられる。特に幼少期において様々な動きを経験することは、その後の子どもと運動との関わりを維持し、身体的・精神的な発展の可能性を拓くベースである。 本講義は、運動あそび領域と身体表現領域で構成し、全15回の開講を初回のオリエンテーション、運動領域（10回）、身体表現領域（4回）に振り分ける。 <運動あそび領域の概要> 教員職員免許法で定められている専門科目としての体育である。教材としては、小学校中学年程度の体操、縄跳び、かけっこ、鬼ごっこ、マット遊び、鉄棒、跳び箱、ボール遊び等である。子どもたちの遊びの中で、これらの教材をどのように取り上げていけばよいのか、またそれらを行う上での指導方法や、指導上の留意点、安全面、補助の仕方、相互協力、教材の中での表現などを演習する。 <身体表現領域の概要> 保育者として幼児向けのダンス教材を踊れるようになることと、即興表現を通して表現のレパートリーを増やすことから、保育者に必要な身体表現の基礎技能としてのダンス表現的な身体の動きを演習する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	積極的に自分の意見や考え方をもち、受け身ではなく積極的に授業に参加すること。 子どもの気持ちになって身体を動かしてみること。 授業開始時には着替えて筆記用具持参の上、集合していること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実技試験を課す種目もある。 毎回のノートは最後に提出してもらいます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	小テスト	30	実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート	20	演習を振り返り、レポートを提出				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水・木・金曜日 16時30分～18時（山中）						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp（山中）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 授業内容の概要の説明、受講上の留意点、諸注意など	山中	講義(教室)	全体の内容の把握と次回への準備	90
2 /	体操 集合のさせ方、準備体操、号令体操、リズム体操、ストレッチの指導法	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
3 /	鬼ごっこ 様々な種類の鬼ごっこの指導法	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理、課題の取り組み	90
4 /	かけっこ 遊びの中でのかけっこや運動会で行うリレータイム計測の仕方	山中	演習(グラウンド)	内容の予習及びノートの整理	90
5 /	リズム表現(1) 一幼児に合わせた振付を考えるー	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
6 /	縄遊び、縄跳び 短縄、長縄を使ったいろいろな種類のこっこ遊び 各種跳び方の実践	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
7 /	リズム表現(2) 一課題のダンスを踊るー	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
8 /	マット遊び お布団の感覚でマットになじませ、こっこ遊びから色々な運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
9 /	即興表現(1) 一動きのレパートリーを見つけるー	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
10 /	鉄棒遊び ぶら下がる事から、振る、回るなどの運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
11 /	即興表現(2) 一音に合わせて表現するー	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
12 /	跳び箱遊び 跳び箱の上に跳び乗り、跳び下りるという運動から色々な運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
13 /	ボール遊び つかむ、転がす、つく、投げる、蹴る、という基本的な動きを使った遊び	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
14 /	ボールゲーム 主にドッジボール・サッカーの指導法	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
15 /	課題の取り組み	山中	実技試験	実技試験	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
情報処理基礎 I	林 泰子(非常勤)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Basic Information Processing I							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
授業の到達目標 ・インターネットによる情報検索、メールの送受信ができる。 ・ワープロソフトの基本操作ができる。またワープロソフトを用いて指導案等の作成ができる。 ・情報倫理に関する理解を深めた上で、SNS等のインターネットを利用することができる。 ・ワープロソフトを用いて業務に必要な文書を作成することができる。							
授業の内容 高度情報通信社会において、あふれる情報の中で情報を主体的に選択・活用し、情報の受信・発信の基本的ルールを身に付けることは一層重要なものとなっている。本講義では、コンピュータリテラシーと情報活用能力を養成することを目的とし、ワープロソフトを用いた指導案等や業務文書の作成、インターネットを利用した効率的な情報収集の方法、情報倫理に関して講義、演習、アクティブ・ラーニング学習等を行う。							
教科書	『保育者のためのパソコン講座—Windows10/8.1/7 Office2010/2013/2016対応版』 阿部正平・阿部和子・二宮祐子（萌文書林） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	きっちり出席し、授業中の課題をしっかりとこなしていきましょう。そしてパソコン等を活用してさまざまなことが出来るようになっていきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使用し、課題提出をしてもらいます。そして、Google Classroomを使用し、フィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	提出された授業中課題を評価する				
	小テスト	40	授業中にコンピュータを使った実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y.hayashi@ashiya-u.ac.jp（林）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション パソコンの基本的な操作方法	林	講義とパソコンを用いた演習	パソコンの基本的な操作方法を復習する	60
2 /	インターネットによる情報検索	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
3 /	電子メールとコミュニケーション	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
4 /	ワープロソフトの基礎	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
5 /	ワープロソフトと文字入力	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
6 /	ワープロソフトと図形	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
7 /	ワープロソフトと画像(写真など)	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
8 /	簡単なおたよりの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
9 /	図表が入ったおたよりの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
10 /	やや複雑なおたよりの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
11 /	簡単な指導案の作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
12 /	やや複雑な指導案の作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
13 /	ワードの実技試験	林	パソコンを用いた実技試験	講義で学んだことを振り返り総復習する	60
14 /	情報倫理とインターネット	林	講義、パソコンを用いた演習、アクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	60
15 /	まとめ	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育原理	李 霞(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Principles of Education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・教育の意義、機能、目的、方法や、教育と児童福祉との関連性を正しく理解する。 ・教育の思想と歴史の変遷について学び、教育の基本的な理念と理論についての理解を深める。 ・学校、教師、就学前教育等に関する諸制度の基本を理解する。 ・生涯学習社会における教育の現状と課題について自ら考える。 ・地域との連携・協働による学校教育の意義・方法を理解する。 ・学校安全への対応に関する基礎的知識を身につける。 							
授業の内容 <p>この科目は、教育職員免許法の科目区分では、「教育の基礎理論」の中の「教育理念に関する科目」に該当する。本授業は、人間の生涯発達における教育の意義・目的、子ども観・教育観の変遷や、日本・諸外国の教育の歴史・現在、教育制度をはじめとした教育に関する全般的な事柄の理解とともに、教育と児童福祉との関連性や現代社会の教育課題などについて理解を深めることを目的とする。加えて、子どもの教育に携わる者としてのあり方について自ら省察する態度の育成を目指す。</p> <p>講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。</p>							
教科書	『コンパクト版保育者養成シリーズ『教育原理』 谷田貝公昭監修、石橋哲成編集（一藝社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	（本学では販売しません）						
担当者からのメッセージ	講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをミニレポートにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	小テスト						
	定期試験	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月、火曜日 12時15分～12時45分 sumireメールにて事前に連絡ください（お名前、相談事項、来室希望時間を明記すること）						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	第1回～第4回公開（2週間前に連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】</p> <p>子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	「教育とは何か」	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第1章を読み、予習用ワークシートを完成してもらう	90
2 /	学校の成り立ち	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
3 /	日本の学校	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 次回の授業時に、第1～3回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	120
4 /	諸外国の教育理論	李	小テスト・講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第11章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
5 /	日本の教育理論・幼児教育の理論	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第10章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
6 /	西洋の子ども観と教育観の変遷	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを完成するよう指示する	60
7 /	日本の子ども観と教育観の変遷	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第4章を事前に読んでおく 次回小テストのため第4～7回の授業内容を復習する	120
8 /	諸外国の教育制度	李	小テスト・講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第9章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
9 /	日本の教育制度	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第8章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
10 /	教師の仕事	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第5章をよみ、予習用ワークシートを完成してもらう	90
11 /	保育者の役割	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを完成しておく 次回小テストのため第8～11回の授業内容を復習する	60
12 /	教育を受ける権利と「子どもの権利条約」	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
13 /	教育と児童福祉との関連性	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
14 /	学校と地域との連携	李	グループ発表及びまとめ	予習 教科書の第14章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
15 /	学校安全への対応	李	グループ発表及びまとめ	予習 教科書の第15章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育原理	永久 欣也(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Principles of Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・保育について、思想、歴史、乳幼児の存在論、現代社会における現状・課題といった観点から考える。 ・保育に関する諸課題を認識し、自分の考え等を筋道立てて言語化することができる。 ・保育の本質をとらえ、具体的ななかかわりの基本を身につける。							
授業の内容 「保育とは何か」を考えるため、その思想や歴史を手がかりに、現代社会における保育・子育ての現状と課題にも向き合いながら、乳幼児の保育・教育に人間存在の原点を見出していく。また、保育者の専門性を深めるための基礎概念を学び、現代に求められている「保育」の意味を考察する。							
教科書	『新基本保育シリーズ1 保育原理』 天野珠路・北野幸子編集 (中央法規) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか随時授業にて紹介						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎。また、新聞やニュースなどの「保育」に関する時事的な事柄にも関心を深めてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点やさらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	小テスト						
	定期試験	50	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	30	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育の理念・保育の概念	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
2 /	保育の社会的役割と責任	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
3 /	保育の制度的位置づけについて	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
4 /	保育所保育指針と保育の基本	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
5 /	保育の目標と方法	永久	講義 課題の提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
6 /	保育と子育て支援	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
7 /	3歳未満児の保育について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
8 /	子ども理解と保育の方法1 「保育の基本はあそびから」	永久	講義	復習 授業の内容を振り返りポイントを整理する	180
9 /	子ども理解と保育の方法2 「様々な保育形態と保育方法」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
10 /	保育と指導計画	永久	講義 課題の提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
11 /	諸外国の保育思想と歴史 「古代から現代まで」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
12 /	諸外国の保育の現状と課題	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
13 /	日本の保育思想と歴史 「古代から現代まで」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
14 /	日本の保育の現状と課題	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
15 /	まとめ	永久	講義	これまでの授業内容の総復習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもと言葉	保田 恵莉(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Young Children and Language development							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択必須						
授業の到達目標 ・人間にとっての言葉の意義や機能を理解する。 ・乳幼児の言葉の発達過程について、言葉の機能への気付きも含めて説明できる。 ・言葉の美しさや楽しさに気付き、言葉を豊かにする実践を、個々のこどもの発達の姿と合わせて説明できる。 ・児童文化財(絵本・物語・紙芝居等)について、基礎的な知識を身に付ける。							
授業の内容 領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を身に付ける。具体的には、人間の証といえる「言葉」の意義と機能について理解した上で、こどもの言葉を育て、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識を身に付ける。							
教科書	なし						
参考書	『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体320円+税) 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体240円+税) 『認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府、文部科学省、厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体350円+税)						
担当者からのメッセージ	授業に必要とする資料・テキストは、教員の方で準備します。 「言葉」が人と人を繋いでいく大きな意味を持つことを踏まえ、質問など、自主的に行ってください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	試験は、授業内に「小テスト」として行います。授業の中で話を聞き、まとめられていれば、きちんと書けます。毎回の授業を大切にしてください。来年度の領域「言葉」に結ばれる子どもと言葉の授業ですので、基礎的な部分を知識としても自分の中に取り入れておいてください。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト	40	2回、実施				
	定期試験						
	レポート	40	reportの内容、提出期限を守る				
	その他	20	出席、提出物				
自由記載							
オフィスアワー	火曜日・水曜日(お昼休み) 保田研究室 「予約をしてもらえると有難いです」 講義の後にも質問は受け付けます。						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp (保田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション	保田	人間にとっての言葉の意義と機能 乳幼児にとっての言葉とは…	予習・復習	90
2 /	こどもにとっての言葉の獲得	保田	その発達過程を知る「誕生から書き言葉(文字)習得まで	予習・復習	90
3 /	こどもにとっての言葉の感覚	保田	言葉の美しさ・楽しさを感じよう (演習)	予習・復習	90
4 /	言葉に対する感覚を豊かにする実践	保田	保育への言葉遊びの導入と乳幼児の育ち (演習)	予習・復習	90
5 /	言葉のかかわりに配慮を要するこどもと保育	保田	こどもの発達を踏まえた「言葉遊び」の内容と工夫 (演習)	予習・復習	90
6 /	言葉を育て想像する楽しさを広げる1	保田	「児童文化財」の持つ意義とこどもの育ち	予習・復習	90
7 /	言葉を育て想像する楽しさを広げる2 模擬保育	保田	「児童文化財」の実際一種類・歴史・保育実践 (演習)	予習・復習	90
8 /	言葉を育て想像する楽しさを広げる3 模擬保育 まとめ	保田	「児童文化財」を用いた実践—絵本(物語・紙芝居など)を読もう	予習・復習	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもと人間関係	保田 恵莉(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Young Children and Human Relationship							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択必修						
授業の到達目標 ・子どもを取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。 ・人と関わる力の育ちがその後に続く1人ひとりの人生を支える力となることに気付くことができる。 ・乳幼児の人間関係の発達について、子どもの園生活における関係発達論的視点から考察できる。 ・自立心や協同性の育ち、道徳性と規範意識の芽生えについて、発達の姿と合わせて説明できる。							
授業の内容 現代社会において子どもの人間関係の育ちに影響を与えている要因について理解し、乳幼児教育で保証すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に、領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論として、関係発達の視点について学び、他者との関係や親子関係、集団との関係の中から乳幼児期において人と関わる力が育つことに着目する。							
教科書	なし						
参考書	『保育所保育指針解説』 厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体320円+税) 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 (フレーベル館) 価格(本体240円+税) 『認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府、文部科学省、厚生労働省 (フレーベル館) 価格(本体350円+税)						
担当者からのメッセージ	授業に必要とする資料・テキストは、教員の方で準備します。 「人間関係の育ち」が人と人を繋いでいく大きな意味を持つことを踏まえ、質問など、自主的に行ってください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	試験は、授業内に「小テスト」として行います。授業の中で話を聞き、まとめられていれば、きちんと書けます。毎回の授業を大切にしてください。来年度の領域「人間関係」に結ばれる子どもと人間関係の授業ですので、基礎的な部分を知識としても自分の中に取り入れておいてください。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト	40	2回、実施				
	定期試験						
	レポート	40	reportの内容、提出期限を守る				
	その他	20	出席、提出(作品)物				
	自由記載						
オフィスアワー	火曜日・水曜日(お昼休み) 保田研究室 「予約をしてもらえると有難いです」 講義の後にも質問は受け付けます。						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp (保田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション 「こどもにとって人間関係とは」	保田	現代社会(家庭・地域での経験)と乳幼児の人間関係	予習・復習	90
2 /	人間関係の中でのこどもの発達 「3歳未満児」	保田	身近な大人との関係を基盤として育つこども	予習・復習	90
3 /	人間関係の中でのこどもの発達 「3歳以上、幼児」	保田	遊びや生活に見られる人と関わる力の育ち	予習・復習	90
4 /	乳幼児期の自立心の育ち	保田	保育実践と事例を通して1	予習・復習	90
5 /	乳幼児期の協同性の育ち	保田	保育実践と事例を通して2	予習・復習	90
6 /	乳幼児期の人間関係の広がり	保田	家庭生活～園生活～地域へと広がる場と関係性の中から	予習・復習	90
7 /	乳幼児期の道徳心・規範意識の芽生えと育ち	保田	他者との葛藤体験を通して、決まりの必要性を理解し互いに折り合いを付ける力の育ち	予習・復習	90
8 /	乳幼児期に育みたい資質・能力と人間関係まとめ	保田	年齢ごとの育ちの発達や違い―その繋がりを理解する―	予習・復習	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもと環境	久米 央也(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Young Children and Environment							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択必修						
授業の到達目標 ・ 幼児の発達と環境の関連性について、その重要性を説明できるとともに環境を通して行う保育の意義について説明できる。 ・ 幼児を取り巻く環境の諸側面（人的環境、物的環境、自然環境、社会環境など）について説明できる。 ・ 幼児期の数量・図形との関わりに関する認知的発達、科学的概念の発達の特徴や筋道について説明できる。 ・ 幼児期の標識・文字等、情報、施設との関わりと、それらへの興味・関心、関わり方について説明できる。 ・ ものづくりや栽培活動など様々な演習を通して、実践力を身に付ける。							
授業の内容 領域指導法「環境」の指導で必要となる感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身に付ける。子どもを取り巻く環境や現在の課題、幼児の特性を理解し、身近な環境との関わり、発達との関連について学ぶ。また、演習における様々な直接体験や環境に関するディスカッションを通して、保育者自身の感性を豊かにし、知識技能を身に付ける。							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体320円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この授業は、子どもを取り巻く様々な環境についての理解を深め、子どもがどのように環境に関わり、生活や遊びに取り入れていくのかについて具体的な活動を通して学ぶ。受講者が保育者としての感性を磨き積極的に知識技能を習得できるためには主体的な受講態度が必要である。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に課題を回収したら、次回以降に解答についてコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な態度を評価する				
	小テスト	30	理解度確認のためのテストを実施する				
	定期試験						
	レポート	30	授業の理解度確認のための課題を課す。				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡すること）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	現代社会の幼児を取り巻く環境とその課題について ～環境の諸側面(人的環境、物的環境、自然環境、社会環境など)～	久米	講義・演習	現代の子どもを取り巻く環境について、文献等で調べておく。授業で指示する課題に取り組む。	90
2 /	乳幼児の発達特性と環境との関わりについて ～子どもの能動性や好奇心・有能感、アフォーダンス～	久米	講義・演習	授業後、講義内容を振り返り学びを深める。授業で指示する課題に取り組む。	90
3 /	乳幼児期と児童期の認知発達について ～乳幼児期と児童期の認知発達の特徴～	久米	講義・演習	乳幼児と児童の発達の違いについて調べておく。授業で指示する課題に取り組む。	90
4 /	乳幼児の数量・図形への関わりについて ～子どもの遊びの中にある算数的活動等について～	久米	講義・演習	乳幼児期の数量・図形に関わる子どもについて調べておく。授業で指示する課題に取り組む。	90
5 /	乳幼児の自然との関わり① ～子どもの身近な自然への興味関心と具体的活動(自然物を使った遊び)	久米	講義・演習	自然物を用いた制作について事前に調べておく。制作の続きを行う。	90
6 /	乳幼児の自然への関わり② ～自然との関わりと、具体的活動(簡単な自然体験活動)～	久米	講義・演習	身の回りの自然について目を向け、事前に調べておく。授業で指示する課題に取り組む。	90
7 /	乳幼児の標識・文字等との関わり ～身近な文字や標識との関わりと、具体的な活動(生活の中にある文字や標識を探す)～	久米	講義・演習	身の回りの文字や標識を意識し事前に調べておく。授業で指示する課題に取り組む。	90
8 /	乳幼児の情報・施設との関わり ～乳幼児の生活に関係の深い情報・施設と具体的な活動(地域マップの作成) ICTの活用～ 小テスト	久米	講義・演習	生活にかかわりの深い情報や施設等について事前にインターネット等で調べておく。	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもと造形表現	深尾 秀一(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Young Children and Art							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択必修						
授業の到達目標 ・子どもの表現とその発達について理解する。 ・作品制作体験を通して、造形の分野において子どもの表現を積極的に展開できる基本的事項とその要因を理解する。 ・自然や周りの物や造形素材から様々な感覚感触を感じ取り、造形の根幹となる自らの感性を磨き、子どもの表現を支える感性を豊かにする。 ・協働活動から、他者の表現を尊重することの大切さ、および共感することの重要性と楽しみを学び、より豊かな子どもたちの造形表現活動につなげることができる。							
授業の内容 本演習では造形表現の領域に関し、講義と課題作品制作の体験を通して、材料用具の特性や取り扱いを学び、造形表現の楽しさを味わいながら自らの感性や表現力を磨き、幼児の表現の姿やその発達の理解と幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学ぶ。第1回目の授業については、オープンソースのデジタル教材（子どもの絵の発達と道筋）を使用し授業を行う。 なお、授業では、PCやスマートフォンを利用し、Google Classroom を使用し課題提出や評価に使用する。							
教科書	なし						
参考書	幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、幼稚園教育要領解説 平成30年3月（文部科学省著、フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府） 子どもの絵の発達と道筋 神戸大学名誉教授 東山 明、 https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/e-other/e-book/e-other19_kodomo/HTML5/sd.html#/page/1 その他、授業中に適宜配付する						
担当者からのメッセージ	毎回授業の初めに演習課題についての説明を行うので、しっかりと課題のポイントを理解しておくことが大切である。制作のための汚れてもいい服装などの準備も大事なポイントである。積極的に課題制作に取り組むこと。第1回目の授業にあたり、オープン教材「子どもの絵の発達と道筋」については各自予習をしておくこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業態度を評価する				
	小テスト	10	授業日最後の小テストにおいて理解度を評価する				
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	課題作品				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時30分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@st.sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	3回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	子どもの発達と造形表現について 表現と子ども理解	深尾	講義 演習	講義概要をまとめる	90
2 /	子どもの造形表現における構成要素について 色、形、空間、時間について	深尾	講義 演習	講義概要をまとめる	90
3 /	造形表現遊びの技法について1 / スパッタリング 粉絵 マーブリング ビー玉転がし 流し絵 吹き絵 ドリッピング ろくる遊び	深尾	演習	技法を整理してファイリングを進める	90
4 /	造形表現遊びの技法について2 / デカルコ マニー フロッタージュ シャボン玉 プク プク泡写し 水性ペンにじみ フィンガーペ インテイング 牛乳ウォッシング	深尾	演習	技法を整理してファイリングを進める	90
5 /	造形表現遊びの技法について3 / 糸はじき 糸引き 糸転がし スタンピング スクラッチ パチック にじみ絵 染紙	深尾	演習	技法を整理してファイリングを進める	90
6 /	身近な素材を使って作品制作1 廃材から怪獣を作る。原案作成 生活の中で見つける空箱や紙袋を使ってイメージを具体的に形にしていく	深尾	演習	廃材を探し、集めておく	90
7 /	身近な素材を使って作品制作2 廃材から怪獣を作る。完成 提出	深尾	演習	廃材を探し、集めておく	90
8 /	自然や生活との対話「色集め」探索活動と表現の源 デジタルカメラを使って自然や生活の素材から色を探す	深尾	演習	課題理解してまとめておく	90
9 /	自然や生活との対話「形集め」探索活動と表現の源 デジタルカメラを使って自然や生活の素材から形を探す	深尾	演習	課題理解してまとめておく	90
10 /	水彩絵の具を使って 自然に親しみ季節を感じて表現を楽しむ	深尾	演習	材料の使い方をまとめておく	90
11 /	クレパスによる創造の世界の表現 夢の世界の構想から原画作成	深尾	演習	原画を完成させておく	90
12 /	クレパスによる創造の世界の表現 夢の世界の作品制作、完成	深尾	演習	材料の使い方をまとめておく	90
13 /	粘土遊びから 紙粘土によるシーサー制作 素材との対話	深尾	演習	材料の使い方をまとめておく	90
14 /	夢の世界の協働制作 多様な世界	深尾	演習	協働活動について考えを整理しておく	90
15 /	総括 子どもの造形表現について & 小テスト	深尾	講義 小テスト	小テストのための振り返りをしておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもと音楽表現	松井 典子(専 任) 柚木たまみ(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Young Children and Music Expression							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現活動における知識・技能修得と表現方法・表現力を修得する。 ・子どもの発達に応じた音楽表現活動の実践に必要な知識・技能を身につける。 ・音楽表現活動の楽しさを実感するとともに、楽しさを生み出す要因について分析・考察することができる。 ・協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげることができる。 授業の内容 <p>幼児教育保育等の現場経験のある教員が講義・演習を行う。情報リソースを活用し、授業を行う。またGoogle classroomを用いた双方向型授業を取り入れ実施する。</p> <p>領域「表現」の指導に関する乳幼児の表現の姿やその発達についての知識・技能を身につけ、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な音楽表現遊びについて実践的に学ぶ。</p> <p>また、協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていく。</p>							
教科書	『こどもの音楽表現・うた遊び』 柚木たまみ 松井典子 他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税) 『表現者を育てるための保育内容『音楽表現』』 石井玲子編著 (教育情報出版) 価格(本体2,270円+税)						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する。						
担当者からのメッセージ	主にグループワークを行うので、常に自分の考えをもち積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてほしい。また、他者の表現活動を観察し、学び合い、さまざまな音楽表現活動をとおして豊かな感性を磨いてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し返却する。次回の授業で課題の中の特徴的な見解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	50	授業で課されるレポート内容及びワークシートの記載				
	その他	50	発表				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 水曜日 12時20分～12時50分 柚木研究室 金曜日 12時20分～12時50分 ※電子メールによる事前予約が望ましい。						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井) t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	領域「表現」のねらい及び内容の理解	柚木 松井	講義と演習	講義内容をまとめる	60
2 /	生活や遊びの中での音遊び	松井	講義と演習	講義内容をまとめる	90
3 /	乳幼児の発達と身体表現活動 ーダルクローズの音楽教育から学ぶー	松井	講義と演習	講義内容をまとめる	90
4 /	身の回りの音・楽器による音楽遊び	松井	講義と演習	講義内容をまとめる	90
5 /	手作り楽器の製作と楽器遊び	松井	講義と演習	講義内容をまとめる	90
6 /	イメージを音で表現する① 創作発表について	松井	演習	演習内容をまとめる	90
7 /	イメージを音で表現する② ICT機器の活用について	松井	講義と演習	講義内容をまとめる	90
8 /	イメージを音で表現する③ 発表及び振り返り	松井	演習	演習内容をまとめる	120
9 /	五感と声・言葉 ー声・歌を使った音楽表現遊びー	柚木	講義と演習	講義内容をまとめる	90
10 /	歌遊びを知る ーわらべうた・手遊び・ふれあい遊びー	柚木	講義と演習	講義内容をまとめる	90
11 /	身体表現と音・声 ーボディー・パーカッションー	柚木	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	子どもの歌 季節や行事の歌	柚木	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	インクルーシブ保育・教育と音楽表現	柚木	講義と演習	講義内容をまとめる	90
14 /	歌唱表現活動の発表・練習	柚木	演習	演習内容をまとめる	90
15 /	歌唱表現活動の発表・まとめ	柚木	演習	演習内容をまとめる	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもと健康	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	実務経験
Young Children and Health							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択必修						
授業の到達目標 ・領域「健康」について理解する。							
授業の内容 領域「健康」のねらいと内容、及び内容の取扱いについて理解し、幼児の健康な心と体を育む知識、また幼児自身による健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識を身に付ける。特に幼児期の健康に関わる心身の発育発達や生活習慣、運動発達の特徴や安全についての理解を深める。							
教科書	『新しい保育講座 7 保育内容「健康」』 河邊貴子・鈴木康弘・渡邊英則 編著 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省 フレーベル館 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 保育所保育指針解説 平成30年3月 フレーベル館						
担当者からのメッセージ	試験は記述式とするので、短大での学びのなかで論理的思考や文章表現力を磨いておくこと。 試験の採点結果が60点に達していない場合は単位認定とならない。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	Google Classroom を利用して講義資料を提示する。 質問等に対するフィードバックは、その内容に応じて Google Classroom やsumireメールなどICT環境を利用して、もしくは通常授業時に口頭にて行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業中の不適切行為等に対する減点や課題を課した際の評価点				
	小テスト						
	定期試験	80	記述式試験				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス (授業の流れを理解する)	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
2 /	保育の基本と領域「健康」	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
3 /	乳幼児期の身体の発達と健康	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
4 /	乳幼児期の生活リズムと生活習慣	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
5 /	乳幼児期の食生活	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
6 /	乳幼児期の運動発達	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
7 /	乳幼児期の運動の必要性	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
8 /	乳幼児期の安全	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法（表現）	三上 佳子(専 任)・深尾 秀一(専 任) 柚木たまみ(専 任)・松井 典子(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Instruction Method of area (Expression)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ・当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ・幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ・各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ・指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ・模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけている。 							
授業の内容 <p>幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、領域指導法（表現）を指導する。Google Classroomを用いた双方向型授業を実施する。また、情報リソースを活用し、授業を行う。</p> <p>幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育現場での勤務経験を有する教員が現場の実践事例を折り込みながら保育を構想する方法を身につける。保育内容の各領域を総合的に捉え表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学び、身体の動きや五感、音やリズム、ものの色や形や質感など様々な表現のツールを用いて表現活動の特徴や面白さを確認し応用や発展を考え実践を重ね、総合的な表現活動を構想、計画、指導、実践できる力を身に付ける。学生が各々実践した内容は、課題ごとに毎回細かく考察をレポートとして提出して、最後には全課題をドキュメンテーション（レポート）としてまとめを提出する。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体320円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	授業の中で提示する。						
担当者からのメッセージ	制作・音楽リズム等に関しては、幼児期の自分を思い出して、のびのびした発想で表現について考えてください。積極的な態度を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	作品課題に関してはお互いの作品を観ながら発想の面白さや表現方法、表現技術などを学んでいく。各自のレポートに関しては、定期的に点検して指導を入れていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	60	提出課題				
	その他	20	模擬保育課題				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 松井研究室 火曜日 12時20分～12時50分 柚木研究室 金曜日 12時20分～12時50分 深尾研究室 水曜日 12時20分～12時50分 ※その他随時受付 ※電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp（三上） h-fukao@sumire.ac.jp（深尾） t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） n-matsui@sumire.ac.jp（松井）						
教員相互授業参観	14回目を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>（幼DP1）【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>（幼DP2）【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>（幼DP4）【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 領域「表現」のねらいと内容について、乳幼児の表現する姿を関連付けることを通して理解する	三上 深尾 柚木 松井	講義	指定の教科書等を読んでおく	90
2 /	幼児の表現あるいは表出について具体的な場面を挙げ、その表現の背景や要因を考察し、さらに幼児の表現が広がる指導方法を考える	三上	講義 演習	子どもの表現行為について下調べしておく	90
3 /	論文やインターネットから国内外の表現活動の実践例や、多様な幼児の表現活動におけるインクルーシブ保育の動向や可能性、そして課題などを理解し自らの保育構想を組み立てる	深尾	講義 演習	授業内容をまとめる	90
4 /	自然(光、風)や自然物を使い、幼児の総合的な表現活動を実践し、素材に関する特性や面白さ、留意点などを考える	深尾	講義 演習	素材の重要性についてレポートをまとめる	90
5 /	身近な素材、リサイクル素材や廃材を用いた幼児の総合的な表現活動の実践から身近にある素材に関する特性や面白さ、留意点などを考える	深尾	講義 演習	素材の重要性についてレポートをまとめる	90
6 /	幼児の表現と小学校との関わりについて学びの連続性を理解し、具体的な実践方法を考える	松井	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	幼児の表現活動に関する音楽教育メソッド(オルフ・コダーイ・ダルクローズ)を応用し、保育実践に活用できるアイデアを考える	松井	講義 演習	講義内容をまとめる 配付プリントを読み、事前学習をしておく	90
8 /	幼児を取り巻く身近な音や楽器との関わり、音環境について様々な事例を通して学び、保育実践での留意点などを考える	松井	講義 演習	講義内容をまとめる 「音環境」についてレポートを提出	90
9 /	五感を使った総合的な表現活動を実践し、活動の特徴や面白さ、留意点などを考える(音を聴いて・匂いを嗅いで、色や形、身体で表現するなど)	柚木	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
10 /	インクルーシブ保育における表現活動や遊びの可能性について、様々な素材を用いた具体的な事例を通して理解し、保育構想への活用を考える	柚木	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
11 /	手足、身体を用いた総合的な表現活動を実践し、特徴や面白さ、留意点などを考える。表現における情報機器と教材の活用法について事例から学び、保育構想に活用できるアイデアを考える	柚木	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
12 /	年齢による発達や環境等の様々な要因を考え、表現活動や遊びを広げるための言葉かけや教材の提示方法、環境をふまえた指導案をグループで考える	三上	講義 演習	総合的な指導案作りのため今までの授業を振り返り整理しておく	90
13 /	総合的な表現活動を実践するために、グループで作成した指導案に沿って教材研究を進める	三上 深尾 柚木 松井	講義 演習 グループ活動	実践に向かい教材の完成度を高める	90
14 /	グループで総合的な表現活動を模擬保育の形で実践し改善する また活動をICT機器や映像機械で記録、共有することの重要性について考える	三上 深尾 柚木 松井	講義 演習 グループ発表	実践を通して、制作した教材について考察する	90
15 /	実践の振り返りと全課題をドキュメンテーション(レポート)としてまとめ提出する	三上 深尾 柚木 松井	講義	それぞれの課題のレポートを綴じてまとめのレポートを作成する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法（言葉）	保田 恵莉(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Instruction Method of area (Language)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、「言葉」のねらい及び内容並びに全体構造を理解する。 ・領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が言葉を獲得する過程を理解し、指導上の留意点を理解する。 ・幼児一人ひとりの発達に応じた適切な援助の方法について、具体的な指導場面を想定して、保育を構想する実践力を身につける。 ・領域「言葉」のねらい及び内容を理解したうえで、幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。 ・指導案の構造を理解し、具体的な保育を構想した指導案を作成することができる。 							
授業の内容 <p>保育、幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める授業を展開する。さらに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。</p>							
教科書	『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体320円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府、文部科学省、厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	授業時に紹介する。						
担当者からのメッセージ	必要に応じてプリントを配付する。A4サイズのノートを用意すること。毎時、授業の振り返りを用紙に記入し提出する。ノート、プリントは最後に記録の綴りとして提出を課す提出課題は期日を守り提出すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	30	毎時授業後の小レポート				
	その他	20	ノート、絵本リスト、教材成果物、指導計画作成課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	保田研究室 木曜日 13時00分～14時30分 事前に連絡してください 質問などは、授業終了後にも受け付けます						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp（保田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	領域「言葉」のねらい及び内容	保田	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	乳児の言葉の発達過程	保田	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	幼児の言葉の発達過程	保田	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	言葉が育つ環境と保育者の役割	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	ごっこあそびの指導 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	言葉あそびの指導 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	指導計画作成	90
7 /	言葉をはぐくむ保育教材の理解（1） わらべうた	保田	講義 演習 課題を提出	講義内容をまとめる	90
8 /	わらべうたあそびの指導 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	指導計画作成	90
9 /	言葉をはぐくむ保育教材の理解（2） 絵本＜教材研究＞	保田	講義 演習 課題を提出	教材研究	90
10 /	絵本の読み語り演習 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	指導計画作成	90
11 /	児童文化財の意義と幼児の物語体験 ＜教材研究＞	保田	講義 演習 課題を提出	講義内容をまとめる	90
12 /	領域「言葉」に関する指導案の作成 ＜指導計画作成＞	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	言葉に遅れや障害がある幼児の理解と援助	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	多文化共生について	保田	講義 演習 ノート提出	講義内容をまとめる	90
15 /	学習の振り返りとまとめ	保田	講義	講義内容をまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法 (環境)	久米 央也(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Instruction Method of area (Environment)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・環境を通して行う幼稚園教育の考え方、領域「環境」のねらい及び内容等を理解し、発達の理解に基づいた評価の考え方・活かし方を理解する。 ・様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする保育のあり方を「事例」をもとに理解する。 ・領域「環境」のねらいを踏まえた指導案作成や模擬授業を通して、幼児や保育者の動きが見える具体的な保育を構想する力を身につける。 ・領域「環境」の学びが小学校以降の学びとどのように接続しているかについて理解する。 ・現在社会の幼児を取り巻く動向を知り保育構想に生かすことができる。							
授業の内容 本授業では、学生が自然や生き物身近な素材等に直接関わる経験を多く取り入れ、実際の保育場面を想定した保育を構想し指導法を身に付けていく。その過程を通じて、幼稚園教育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について理解を深め、保育実践力を高めていく。 この講義では、ノートパソコンを使用する。							
教科書	『保育所保育指針解説』 労働厚生省（フェレール館） 価格（本体320円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フェレール館） 価格（本体240円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省・厚生労働省（幼保連携型認定こども園教育・保育要領） 価格（本体350円＋税）						
参考書	『保育実践に生かす保育内容「環境」』 高内正子 上中修（保育出版社） 価格（本体2270円＋税）						
担当者からのメッセージ	この授業では、子どもの好奇心や探求心を引き出し、よき援助者になるための知識と専門性を高めていくため、講義に加え、演習形式による参加型での授業を展開する。そのため、毎回学生の主体的、積極的な受講態度が求められる。必要な準備物については授業の中で説明する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に課題を回収したら、次回以降で解答についてコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な参加態度や指導案・模擬授業等を評価する				
	小テスト						
	定期試験	40	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	20	授業の理解度の確認のために、課題を課す（次回の授業で提出）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	幼児教育の基本と保育内容「環境」(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連) ・小学校教育との違いについて ・保育内容の基本的構造と領域「環境」のねらい及び内容について	久米	講義・演習	講義内容をまとめる	90
2 /	子どもの育ちと「環境」との関わりを学ぶ ・幼児の発達特性について ・幼児期の発達に応じた環境と環境構成の実際(事例研究)	久米	講義・演習	講義内容をまとめる。幼稚園教育要領を繰り返し読む	90
3 /	保育の実際から領域「環境」のねらい及び内容を学ぶ ・園内外で行われる幼児の遊びや活動の事例から	久米	講義・演習	課題を完成させる	90
4 /	領域「環境」のねらいを達成するための「人的環境」「物的環境」を学ぶ ・保育活動の事例から人的環境、物的環境のあり方を学ぶ	久米	講義・演習	学んだこと、経験したことをまとめておく	90
5 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(栽培の実際) ・指導計画案を立てる(野菜等の栽培)	久米	講義・演習(野菜の栽培)	指導案を調べる	90
6 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(指導案の作成・指導細案の作成) ・模擬保育を行う準備をする(野菜等の栽培)	久米	講義・演習(指導案立案)	指導案を完成する	90
7 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(模擬保育をする) ・グループに分かれて一人一人模擬保育をする	久米	講義・演習(模擬保育)	模擬授業を振り返り内容をまとめる	90
8 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(振り返り) ・計画立案、模擬保育の反省、改善点の検討(野菜等の栽培の振り返り)	久米	講義・演習(模擬保育の反省・振り返り)	模擬保育の反省、振り返りをまとめる	90
9 /	幼児期における数量・図形の関心、感覚を育む保育の実際 ・幼児期における算数的活動を引き出す保育について ・手遊び歌に潜む算数の土台について	久米	講義・演習	学んだこと、経験したことをまとめておく 小学校算数を想起する	90
10 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実際(制作の体験) ・身の回りの素材を使ったおもちゃ等の作成 ・工夫する力(思考力)を育むための人的環境・物的環境について	久米	講義・演習(制作体験)	指導案を調べる	90
11 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実際(指導案の作成・指導細案の作成) ・模擬保育を行う準備をする(制作)	久米	講義・演習(指導案立案)	指導案を完成する	90
12 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実際(模擬保育をする) ・グループに分かれて一人一人模擬保育をする	久米	講義・演習(模擬保育)	模擬授業を振り返り内容をまとめる	90
13 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実際(模擬保育の振り返り) ・計画立案、模擬保育の反省、改善点の検討(おもちゃ製作の振り返り)	久米	講義・演習(模擬保育の反省・振り返り)	模擬保育の反省、振り返りをまとめる	90
14 /	社会や文化に関わる力を育む保育の実際 ・地域行事との関わり、日本文化や異文化に触れる活動について	久米	講義・演習	地域行事を調べる 講義内容を振り返りまとめる	90
15 /	現在社会の幼児を取り巻く環境とその課題について学ぶ ・幼稚園と小学校のインクルーシブ教育の比較 ・ESD、SDGS、ユニバーサルデザインについて	久米	講義・演習	インクルーシブ教育についてまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法（健康）	北尾 岳夫(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
Instruction Method of area (Health)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・領域「健康」に関する指導について理解する。 ・領域「健康」に関する指導計画が立てられる。							
授業の内容 領域「健康」のねらいと内容、及び内容の取扱についての理解のもと、領域「健康」に関する適切な指導方法と、幼児への関わり方を理解する。							
教科書	『新しい保育講座 7 保育内容「健康」 河邊貴子・鈴木康弘・渡邊英則 編著（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省 フレーベル館 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 保育所保育指針解説 平成30年3月 フレーベル館						
担当者からのメッセージ	試験は記述式とするので、短大での学びのなかで論理的思考や文章表現力を磨いておくこと。 試験の採点結果が60点に達していない場合は単位認定とならない。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを利用して講義資料を提示する。 質問等に対するフィードバックは、その内容に応じて Google Classroom やsumireメールなどICT環境を利用して、もしくは通常授業時に口頭にて行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業での不適切行為等に対する減点や課題を課した場合の評価点				
	小テスト						
	定期試験	80	記述式試験				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp（北尾）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	指導計画の作り方	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
2 /	指導計画作成の実際	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
3 /	領域「健康」と保育方法	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
4 /	生活リズム・生活習慣に関わる指導	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
5 /	食育に関わる指導	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
6 /	運動遊びに関わる指導	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
7 /	安全への配慮と子どもへの安全教育	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
8 /	領域「健康」に関わる現代的課題と動向	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育内容総論	三上 佳子(専 任)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Introduction to Child-care							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育における全体像と保育内容5領域を総合的に理解している。 ・ 環境を通じた保育のあり方および遊びを通じた総合的な指導のあり方について理解している。 ・ 遊びを通しての総合的な指導の意義と、幼児の保育内容が説明できる。 ・ 視聴覚教材を用いて、実際の保育場面の子どもや保育者の様子を見ながら、保育内容全般を学ぶことができる。 ・ 幼児教育における指導計画の考え方を理解し、発達の過程を見通した指導計画作成を学ぶことができる。 							
授業の内容 <p>幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、保育内容総論を指導する。</p> <p>具体的な幼児の姿を関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているかについて学び、5領域のねらい及び内容とつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。</p>							
教科書	『マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論』 開 仁志 編著（保育出版社） 価格（本体2,270円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体220円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	「保育原理」の学びを基礎とした授業であり、実習を視野に入れた内容を考えている。 授業時に配付したプリントや演習課題はファイルに綴じること。 教科書を事前に読み学習し授業に臨んで欲しい。 授業態度については、積極的に意見やディスカッション、授業後のミニレポートを評価の対象とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントをつけて適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	普段の授業態度を評価				
	小テスト	30	小テスト				
	定期試験						
	レポート						
	その他	40	ノート、教材の成果物、指導案等の提出を評価				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20.00分～12時50分 授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開する（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 幼児教育における遊びを通じた指導	三上	授業の進め方の説明をする 講義	保育所・幼稚園・幼保連携型 認定こども園の目的、目標、 保育内容について読んでおく	90
2 /	子どもの遊びを分析して、どのような経験をして いるか話し合う	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
3 /	幼児教育における環境構成を通じた実践	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
4 /	環境構成を分析して、物的環境や人的環境との 関わりについて話し合う	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
5 /	幼児教育における5領域のねらい及び内容の つながり	三上	講義 グループ討議	グループ討議の内容をまとめる	90
6 /	入園前の子ども理解と子どもの生活	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
7 /	支援を要する子ども理解とクラス運営	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
8 /	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と 活動のつながり	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
9 /	保育活動全体を通して分析し、幼児教育にお ける見方・考え方を話し合う	三上	講義 グループ討議	グループ討議の内容をまとめる	90
10 /	幼児教育における教育課程・指導計画につい て	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
11 /	幼児教育における長期指導計画・短期指導計 画の特徴について	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
12 /	「初めてのお弁当日」をどのように指導する かについて	三上	講義 グループ討議	グループ討議の内容をまとめる	90
13 /	5領域に関連した具体的な保育計画を行い、 指導案を作成することができる	三上	講義 グループ討議	指導案作成のため、今までの 授業内容を整理しておく	90
14 /	模擬保育を実施する	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
15 /	まとめとテスト	三上	演習 小テスト	今までの授業内容を整理して おく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
乳児保育Ⅰ (①)	内藤 幸枝(非常勤) 杉田のり子(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割について理解する。 ・保育所、乳児院等多様な保育現場の乳児保育の現情と課題を理解する。 ・3歳未満時の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制を理解する。 ・乳児保育における職員間の連携、保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
授業の内容 現在保育所に勤務している担当教員により、子ども理解や対応の仕方、保護者や職員との連携などリアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 人が人として生きる意味を考え、その根幹となる乳児保育の意義を把握し、歴史の変遷から現状について理解する。赤ちゃんの心身の成長発達を科学的根拠から学び、母子関係、養護と教育の一体化の重要性、3歳未満児の成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに乳児担当者としての心構え、保育観を確立するための保育の原理や知識技術の基礎を演習形態で学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育Ⅰ・Ⅱ -科学的観察力と優しい心-』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的な予習・復習を含め、グループ討議や授業の積極的な参加姿勢、授業内容のまとめや考察を記したノート提出を基に乳児保育の理解を評価のポイントとする。 また、授業内容を把握し、他の意見を聞いたり自分の意見を表現し、文章化することで思慮を深めるようにする。 乳児保育の重要性とともにやりがいを感じ、保育士への意欲を高めてもらいたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題提出を添削し、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	小テスト	40	まとめ授業時に乳児保育Ⅰの授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	養護的な関わりと乳児保育の実際 だっこ・おんぶ	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
2 /	乳児保育の実際 授乳・離乳・食事	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
3 /	乳児保育の実際 排泄(おむつ交換)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
4 /	乳児保育の実際 睡眠(子守歌・睡眠観察)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
5 /	乳児保育の実際 清潔・着脱	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
6 /	乳児保育の実際 わらべうた・ふれあい遊び	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
7 /	乳児保育の実際 健康・安全・防災	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
8 /	乳児保育の意義・歴史 乳児保育の保育者論	内藤	講義 グループ討議	テキストを読んでまとめる	90
9 /	保育所指針の乳児保育の考え方	内藤	講義 グループ討議	テキストを読んでまとめる	90
10 /	乳児保育の歴史と意義	内藤	講義 グループ討議	テキストを読んでまとめる	90
11 /	0、1、2歳児の発達理解 保育所保育指針と発達理解	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
12 /	発達の流れと保育 0歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
13 /	発達の流れと保育 1歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
14 /	発達の流れと保育 2歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
15 /	まとめ	内藤 杉田	乳児保育 I に関する理解度 の確認	ここまでの学びについて復習 しておくこと	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
乳児保育 I (②)	内藤 幸枝(非常勤) 杉田のり子(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割について理解する。 ・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ・3歳未満時の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制を理解する。 ・乳児保育における職員間の連携、保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
授業の内容 現在保育所に勤務している担当教員により、子ども理解や対応の仕方、保護者や職員との連携などリアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 人が人として生きる意味を考え、その根幹となる乳児保育の意義を把握し、歴史の変遷から現状について理解する。赤ちゃんの心身の成長発達を科学的根拠から学び、母子関係、養護と教育の一体化の重要性、3歳未満児の成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに乳児担当者としての心構え、保育観を確立するための保育の原理や知識技術の基礎を演習形態で学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育 I・II -科学的観察力と優しい心-』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的な予習・復習を含め、グループ討議や授業の積極的な参加姿勢、授業内容のまとめや考察を記したノート提出を基に乳児保育の理解を評価のポイントとする。 また、授業内容を把握し、他の意見を聞いたり自分の意見を表現し、文章化することで思慮を深めるようにする。 乳児保育の重要性とともにやりがいを感じ、保育士への意欲を高めてもらいたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題提出を添削し、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	小テスト	40	まとめ授業時に乳児保育 I の授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	乳児保育の意義・歴史 乳児保育の保育者論	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
2 /	保育所指針の乳児保育の考え方	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
3 /	乳児保育の歴史と意義	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
4 /	0、1、2歳児の発達理解 保育所保育指針と発達理解	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
5 /	発達の流れと保育 0歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
6 /	発達の流れと保育 1歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
7 /	発達の流れと保育 2歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
8 /	養護的な関わりと乳児保育の実際 だっこ・おんぶ	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
9 /	乳児保育の実際 授乳・離乳・食事	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
10 /	乳児保育の実際 排泄(おむつ交換)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
11 /	乳児保育の実際 睡眠(子守歌・睡眠観察)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
12 /	乳児保育の実際 清潔・着脱	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
13 /	乳児保育の実際 わらべうた・ふれあい遊び	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
14 /	乳児保育の実際 健康・安全・防災	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
15 /	まとめ	内藤 杉田	乳児保育 I に関する理解の 確認	ここまでの学びについて復習 していくこと	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
障がい児保育	廣野 俊輔(非常勤)	1年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Education for Handicapped Children							
資格等取得との関連	保育士資格の必修、准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・障がい児保育を支える理念や歴史について学び、障がい児保育についての歴史の変遷を理解することができる。 ・障がい特性やその他の特別な配慮を要する子どもの特徴を理解し、具体的な支援方法を学び、障がい児保育の実践を身に付けることができる。 ・障がい児やその他の特別な配慮を要する子ども保育に関する現状と課題を理解することができる。							
授業の内容 保育所・幼稚園において、特別な配慮を要する子どもへの保育や教育は避けて通れない非常に重要なものである。そこで、本演習では、1. 特別な配慮を必要とする子どもである障がい児の保育の歴史や概念などから障がい児保育について考え、2. 障がい児の特性と支援について考えるばかりではなく、3. それ以外の特別な配慮を要する子どもについての特性と支援についても考えていく。さらに、4. そのことを理解することを基に、具体的な支援技術の習得、保護者への支援、関係機関との連携などについて考え、加えて特別支援教育との関連について考えていく。							
教科書	『障害児保育ワークブック インクルーシブ保育・教育をめざして』 星山 麻木 (萌文書林) 価格(本体2,090円+税)						
参考書	講義中に適宜紹介する。						
担当者からのメッセージ	今年度から試験を行います。予習復習を頑張ってください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	質問は随時受け付けます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	講義への参加の度合いを評価する。				
	小テスト						
	定期試験	50	学期末に学習の成果を問う。				
	レポート						
	その他						
自由記載	講義を妨害する行為(私語等)については、試験の提出状況に関わらず不合格にする場合がある						
オフィスアワー	講義終了後に教室で質問を受ける。						
担当教員E-mail	shirono@mail.doshisha.ac.jp (廣野 俊輔)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】	子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。					
	(幼DP2)【専門性をいかす技能】	保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。					
	(幼DP3)【問題提起・解決能力】	子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。					
	(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】	保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。					

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	Introduction－授業の進め方 障がい児と保育 －なぜ特別の支援が必要なのか：障がい児保育の歴史と意義－	廣野	ワークショップ・講義	これまでの関連授業の復習をする 講義内容の復習	60
2 /	障がい児がおかれてきた歴史	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
3 /	発達とは何か？人が発達するとはどういうことか？	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
4 /	障がいの特性を理解する1 －発達障害とは：発達の違い－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
5 /	障がいの特性を理解する2 －肢体不自由・視覚障がい・聴覚障害など－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
6 /	障がいの特性を理解する3 －自閉症スペクトラム・ADHDなど－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
7 /	障がいの特性を理解する4 －LD・知的障がい・視覚障がい・聴覚障害など－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
8 /	特別の配慮を要する子どもの特徴1 －虐待を受けている子ども－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
9 /	特別の配慮を要する子どもの特徴2 －貧困・外国籍の子どもなど－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
10 /	支援方法を理解する1 －心の支援・行動への支援・環境調整による支援など－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
11 /	支援方法を理解する2 －支援計画、さらに支援者の拡大－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
12 /	支援事例の検討1 事例を用いたグループワーク	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
13 /	支援事例の検討2 事例を用いたグループワーク	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
14 /	支援事例の検討3 事例を用いたグループワーク	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
15 /	保育者支援と今後の課題 －小学校との連携：特別支援教育を中心にして－	廣野	ワークショップ・講義	講義内容の復習	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
多文化共生の保育と方法	永久 欣也(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Childcare and method of multiculturalism							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・多文化共生の保育について理解を深め、課題解決に向けて考えていく。 ・日本と海外の保育活動の相違について知り、その歴史的背景などを知る。 ・多文化共生の保育活動のための保育者をめざし、そのために必要な知識を深めたり、実践したりする。							
授業の内容 国際化の波は保育の現場にも押し寄せてきており、多文化理解に精通した保育者が求められてもきている。多文化共生社会における保育のあり方を考え、保育現場が直面している課題解決に向けてどのようなことができるかを考えていく。							
教科書	『多文化保育・教育論』 咲間まり子 編 (株式会社 みらい) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	授業時に適時紹介する						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎する。また、新聞やニュースなど、「多文化共生」に関する事柄には特に気をつけておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点や、さらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに、個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	小テスト						
	定期試験	60	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	20	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等にて連絡あれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 「多文化共生の保育について」	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
2 /	多文化共生の保育の現状を知る	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
3 /	在日外国人の動向と課題 －福祉ニーズについて知る－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
4 /	異文化コミュニケーションとは	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
5 /	多文化共生を阻むもの	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
6 /	外国人保護者への支援のあり方	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
7 /	ワールド・スタディーズについて1 －国際理解教育のための方法論－	永久	講義 演習 グループでの活動実践	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
8 /	ワールド・スタディーズについて2 －あそびを通して学ぶ国際理解－	永久	講義 演習 グループでの活動実践	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
9 /	多文化保育における保育者の役割 －求められる保育者像－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
10 /	多文化保育の実践例に学ぶ(国内)	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
11 /	諸外国の多文化共生保育を知る1 －北欧を中心として－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
12 /	諸外国の多文化共生保育を知る2 －アジア圏を中心として－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
13 /	多文化共生保育の実現に向けて1 －内なる国際化の充実のために－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
14 /	多文化共生保育の実現に向けて2 －保育現場の課題解決のために－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
15 /	まとめ	永久	講義	これまでの授業内容の総復習	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの保健	上田 香(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Child Health							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 ・子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 ・子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 ・子どもの疾病とその予防法及他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。							
授業の内容 保育所や子育て支援において、子どもの健康管理や保育保健活動の実際を経験した専門職（看護師）により、保育所保育指針第3章「健康及び安全」を踏まえ、乳幼児期の成長発達に応じた養護、保育保健の知識や技術について講義する。 また、子どもの発育・発達や心身の健康状態とその把握方法の授業では、グループワークや演習を通じて具体的な対応を学ぶ。							
教科書	『図解 子どもの保健 I 第2版（改訂予定）』 服部右子・大森正英編（株式会社みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力ー保育所・家庭で役立つー 監修 川原左公 価格（本体2,381円＋税）						
担当者からのメッセージ	教科書を基本に授業を進めます。予習復習に努め、ノートへの記録も必要です。ノートの提出を求める場合もあります。授業で配布する資料やプリントは大切にファイルしてください。授業態度は、保育の資格を取る者としての自覚を持ち、私語は慎み、携帯電話等授業に不要なものは机の上に置かないようにしてください。授業中の態度も評価の対象になります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	私語を慎み、教科書忘れなどないように注意する。				
	小テスト						
	定期試験	70	理解度確認のためのテストを実施する。				
	レポート						
	その他	20	小テスト、レポート等必要に応じて実施する。				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける。						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 子どもの保健の意義と目的 生命誕生について	上田	講義、DVD視聴	講義内容をまとめる DVD視聴の感想文を課題とする	90
2 /	子どもの発育、発達と保健1 身体の発育と保健 生理機能の発達と保健	上田	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	子どもの発育、発達と保健2 運動機能の発達と保健 精神（こころ）の発達と保健	上田	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	子どもを取り巻く生活環境と心身の保健	上田	講義、DVD視聴	講義およびDVD視聴内容をまとめる	90
5 /	子どもの生活習慣と健康	上田	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	子どもの精神（こころ）の保健 子どもの栄養	上田	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	子どもによくみられる症状とその対処法1 子どもの健康状態の評価	上田	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	子どもによくみられる症状とその対処法2 主な症状と対処法	上田	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	事故と安全指導および応急処置1 子どもと事故 事故防止	上田	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	事故と安全指導および応急処置2 応急処置の実際	上田	講義、DVD視聴	講義およびDVD視聴内容をまとめる	90
11 /	子どもの病気・異常とその予防1 先天性の病気、新生児の病気・異常 子どもの病気	上田	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	子どもの病気・異常とその予防2 子どもの病気と予防	上田	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	母子保健行政	上田	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	復習・まとめ 子どもの保健 子どもの発育・発達と保健 子どもの生活習慣と健康について	上田	講義	これまでの講義内容を振り返り復習しておく	90
15 /	復習・まとめ 子どもによくみられる症状とその対処法 子どもの病気・異常とその予防について	上田	講義	これまでの講義内容を振り返り復習しておく	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの心理学	菅 眞佐子(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Child Psychology							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修、准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するさまざまな理論を理解し、実際に子どもたちと関わる際に役立てることができる。 ・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身につけ、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。さらに個別の指導に役立てることができる。							
授業の内容 発達相談員・幼稚園園長としての経験、ならびに臨床発達心理士の資格に基づいて講義を行う。 保育者が幼児に対する関わりを行う際に、幼児の心の発達プロセスや、学習の状況・あり方に関する基本的な知識を有していることは極めて重要である。本講義では、発達や学習に関わる基礎的な内容について学び、保育・教育活動における基礎的・実践的な力量を養うことを目指す。							
教科書	『シリーズ知のゆりかご』保育の心理学』 青木紀久代編 (株式会社 みらい) 価格(本体2,100円+税)						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	この授業では発達の基礎を学ぶこととなります。何事においても基礎はとても大切なもので、基礎を身につけるためには、かなりの時間をかけるべきです。予習、復習の習慣を身につけ、その中でしっかりと発達の基礎を身につけた保育者を目指してください。 アクティブ・ラーニングの手法を取り入れて学ぶ計画です。授業の詳細は、第1回目に説明をします。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、理解を確実にするための課題を行い、Google Classroomを利用して評価・フィードバックを行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業の予習・振り返り、受講態度を評価します				
	小テスト						
	定期試験	70	筆記試験を行う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	菅研究室 前期火曜日12:15-12:45、後期金曜日12:15-12:45 事前にメールでの連絡をお願いします。						
担当教員E-mail	m-suga@sumire.ac.jp (菅(すが))						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	・授業のオリエンテーション ・「子どもが発達する」ということ	菅	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
2 /	子どもの発達と子ども観・保育観の変遷	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
3 /	社会情動的発達 1.自己の発達、第一次反抗期	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
4 /	社会情動的発達 2.情動の発達、情動調整の発達	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
5 /	身体の機能と運動の発達 1.身体機能の発達、運動機能の発達	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
6 /	身体の機能と運動の発達 2.基本的生活習慣の獲得	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
7 /	認知の発達 1.ピアジェの発達理論	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
8 /	認知の発達 2.心の理論、学習理論	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
9 /	言葉の発達とコミュニケーション	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
10 /	子どもの発達と臨床的問題	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
11 /	乳幼児期の学びに関わる理論 1.愛着	菅	講義 アクティブ・ラーニング	講義テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
12 /	乳幼児期の学びに関わる理論 2.遊び	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
13 /	乳幼児の学びの過程と特性	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
14 /	乳幼児の学びを支える保育	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
15 /	現代社会における子どもの現状とその発達への支援	菅	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
社会福祉	岡本 芳也(非常勤)	1年次	前期	2	講義	必修	実務経験
							○
Social Welfare							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題としての生活問題を、具体的な事例を手掛かりに理解できる。 ・社会福祉の成り立ちを理解できる。 ・現代社会における社会福祉の実態が理解できる。 ・「生存権」を単なる文言としてでなく、くらしの中で生かしていける視点を身につける。 ・社会科学的なものの見方・考え方を身につけることができる。 							
授業の内容 <p>社会福祉士として成年後見制度利用者を対象とした地域福祉実践に携わっている講師による講義である。日本国憲法第25条「生存権」の理念に基づいて、暮らしにまつわる様々な問題を社会科学的なものの見方・考え方からとらえていく、その手がかりを得ることを目標とする。そのために、現在、社会福祉や保育の現場でどのような問題が起こっているのか、現実において学んでいく。特に、貧困や差別、虐待といった社会問題がどのように生み出され、そして私たちはどのように対処してきたのか、歴史から学ぶことを重視する。さらに歴史や理論を踏まえ、現在の法制度や支援の実態を学んでいく。基本的に講義形式で実施する。</p>							
教科書	『はじめて学ぶ 子どもの福祉2 社会福祉』 倉石哲也・小崎恭弘 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	参考書は授業の中で紹介する その他、参考資料についてはその都度配付する						
担当者からのメッセージ	社会福祉は限られた人に関する問題や実践ではなく、この社会に生きる皆さんを含む全ての人に関わることです。また、現代社会における社会福祉実践は単なるお情けや恩情で行うものではなく、権利として社会によって保障されなくてはならないものです。皆さん自身の身の回りを見渡ししながら、他人事ではなく自分たち自身に関わることとして理解を深めていってください。なお、この科目で学ぶことは後期「施設実習Ⅰ」に直結してきます。実習へのつながりを意識しながらしっかり学んでください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	小レポートについては、翌週の授業にて必要に応じてコメントを行います。また、学習内容に関して寄せられた疑問、質問についても回答、説明などを行い、より深い理解ができるようにしたいと思います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	講義に関する小レポートで評価する				
	小テスト						
	定期試験	60	社会福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に、教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	社会福祉と何か(基本的枠組みの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	30
2 /	社会福祉の理念(基本的人権を中心として)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
3 /	社会福祉の理念(ノーマライゼーション、ソー シャルインクルージョンなど)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
4 /	社会福祉の歴史の変遷(近代社会福祉の成立)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
5 /	社会福祉の歴史の変遷(海外における社会福 祉制度の発展)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
6 /	社会福祉の歴史の変遷(日本における制度の 変化)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
7 /	社会福祉の歴史の変遷(社会福祉基礎構造改 革などの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
8 /	社会福祉における専門職実践(専門職の理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
9 /	社会福祉における専門職実践(専門職の技術、 原則)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
10 /	社会福祉の制度・体系(1) 生活保護制度	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
11 /	社会福祉の制度・体系(2) 児童家庭福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
12 /	社会福祉の制度・体系(3) 高齢者福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
13 /	社会福祉の制度・体系(4) 障害者福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
14 /	社会福祉の制度・体系(5) 権利擁護	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	120
15 /	社会福祉の施設・機関・専門職(現在の課題)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども家庭福祉	楊 慧敏(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Child and Family Welfare							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・前期「社会福祉」の学びを踏まえ、子どもを取り巻く生活問題とその対策について理解する。 ・子どもの「人権」について具体的に学び、身近な問題として考えることができる視点を獲得することができる。 ・子ども家庭福祉に関する支援やサービスについて幅広く学ぶ。							
授業の内容 授業の大きなテーマは「子どもの生存権」である。まずは、子どもや子どものいる世帯の生活問題を実態と歴史の双方から学ぶ。そのうえで、現在の子ども家庭福祉のサービスの現状と、今後の改善点についてふれていく。講義形式の授業であるが、単なる歴史や制度の解説にとどまらず、「本当にこれでいいのか」「現状に合っているのか」という批判的な視点から授業を展開していく。実態にふれてもらうため、ドキュメンタリー映像を使用する。							
教科書	『みらい×子どもの福祉ボックス 子ども家庭福祉』 喜多一憲監修 堀場純矢編 (みらい) 価格(本体2,100円+税)						
参考書	参考書は授業の中で紹介する。						
担当者からのメッセージ	子どもたちの生活問題を「ひとごとではない」「ほっとけない」問題としてとらえられるよう、この授業をきっかけとして学びを深めてほしい。 また、学習する内容は「施設実習Ⅰ」とも深くかかわってくる。実習は「まだ先の話」ではない。差し迫った課題としてとらえてもらいたい。 授業では毎回プリントを配付するので、各自ファイルするなどして無くさないようにすること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	3回の提出課題がある。課題は担当者が確認・検印のうえ返却する。返却された課題はなくさないように保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中に課す小レポートで算出する				
	小テスト						
	定期試験	70	子ども家庭福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける。						
担当教員E-mail	yang90324@gmail.com (楊)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	開講にあたって 児童家庭福祉を学ぶために	楊	講義 わが国の子ども政策に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
2 /	子どものいる世帯の生活問題(1) 日本とフィンランドの比較	楊	講義 フィンランドの福祉・教育政策のドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	60
3 /	子どものいる世帯の生活問題(2) 取り組みの立ち遅れが目立つ日本	楊	講義 子ども・若者支援に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
4 /	子どもの人権	楊	講義 子どもの人権に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
5 /	子ども家庭福祉の歴史(1) 明治・大正期	楊	講義	テキストを読む	60
6 /	子ども家庭福祉の歴史(2) 昭和初期から現代	楊	講義 戦時中の子どもたちに関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
7 /	子ども家庭福祉の法と行政機関,児童虐待対策	楊	講義 児童虐待に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	90
8 /	子育て支援・健全育成	楊	講義 児童館に関する学習ビデオ視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
9 /	保育政策	楊	講義 保育所に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
10 /	母子保健	楊	講義 母子保健に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
11 /	ひとり親家庭への支援	楊	講義 ひとり親家庭に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
12 /	社会的養護	楊	講義 社会的養護に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
13 /	障がい児への福祉サービス	楊	講義 障がい児に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
14 /	少年非行への対応	楊	講義 少年非行に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキストを読む	60
15 /	授業のまとめ	楊	講義 定期試験に向けての復習講義	定期試験に向けて知識を定着させる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
社会的養護 I	木塚 勝豊(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Study of Social Care I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・社会的養護の現状と課題について理解する。 ・あたらしい社会的養育ビジョンについて理解する。 ・要保護児童を含む児童の最善の利益について考察し、その具体的支援についての課題と将来像について理解する。							
授業の内容 児童養護施設での経験を活かした授業を行う。 児童福祉法における社会的養護の位置づけについて理解する。子ども・子育て支援新制度における社会的養護の位置づけを明確にしなが、社会的養護を必要とする児童の支援について、社会的養護施設や里親・ファミリーホームでの取り組みの現状と課題について理解する。具体的実践等を映像等で理解し、机上学習による振り返りを通して習熟度を深める。また、学生同士の学びを大切に、グループワークを取り入れてアクティブ・ラーニングする授業も設け、学生同士・学生と教員など、ともに学ぶ姿勢を授業の中に取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	提出物を誠実に仕上げ、期限までに提出する。 授業中の確認テスト等をしっかりと仕上げる。 欠席・遅刻・早退については極力ないようにしてください。 授業態度ですが、指示なくスマホを操作する・理由なく立ち歩く・他学生の迷惑になるような私語・居眠り等は厳禁です。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題・レポートのほとんどは翌週以降に学生へ返却します。一部のレポート等については評価対象となりますので返却しない場合があります。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業で指示された提出物で習熟度を確認して評価する				
	小テスト	30	習熟度を確認するテストにより評価する				
	定期試験						
	レポート	40	レポート試験により評価する				
	その他						
自由記載	真面目に受講することが重要です						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	toku_kizuka@snow.ocn.ne.jp (木塚)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション・アイスブレイク アクティブ・ラーニングで社会的養護を学ぶ・ グループワーク課題を発表	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
2 /	子ども・子育て支援新制度における社会的養 護の位置付けを明確化する	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
3 /	社会的養護の課題と将来像について理解する	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
4 /	学生が調べた「児童養護施設」について発表 と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
5 /	学生が調べた「乳児院」について発表と教員 からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
6 /	学生が調べた「児童自立支援施設」について 発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
7 /	学生が調べた「児童心理治療施設」について 発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
8 /	学生が調べた「母子生活支援施設」について 発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
9 /	学生が調べた「自立援助ホーム」について発 表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
10 /	学生が調べた「里親・ファミリーホーム」に ついて発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
11 /	学生が調べた「児童相談所」について発表と 教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
12 /	学生が調べた「一時保護所」について発表と 教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
13 /	あたらしい社会的養育ビジョンについて 1	木塚	教員からの机上学習	復習時間を確保してください	30
14 /	あたらしい社会的養育ビジョンについて 2	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
15 /	1～14の授業のふりかえり	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
社会的養護Ⅱ	大久保和久(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
							○
Study of Social Care Ⅱ							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・社会的養護の実際と支援の内容・方法・技術を習得することができる。 ・保育所等の保育士と児童入所施設等保育士が習得すべき、専門性の共通点と違いについて理解することができる。 ・社会的養護の必要性と、その充実を目指す上での具体的な課題と展望を知ることができる。							
授業の内容 現在、児童養護施設で施設長をしている担当教員が現場での豊富な経験をベースに演習を中心とした授業を行う。 現代社会が抱えているさまざまな歪みは、家庭養育にも大きく影響を及ぼし、結果として家庭での養育力の低下を招いている。加えて地域社会の教育力も弱体化してきており、そのため子ども達の好ましい育ちはますます阻害され、今や社会的養護の必要性とその充実は不可欠といえる。この教科では、適切な児童観の理解とともに、社会的養護の実際と支援の内容・方法・技術を習得すべく、施設現場レベルでの演習を主とした学習の場としたい。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	「児童家庭福祉」「社会的養護」の講義に使用される教科書を必要に応じて参照してください。 保育士として、児童養護に携わる上で必ず身につけておかなければならない実践的内容ばかりです。 講義時はこちらのんこと、小レポートの内容及びグループ課題に積極的に取り組む姿勢や受講態度は評価の大きなポイントになります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。 よくできた小レポートについては、授業中に受講生全体に口頭で内容をフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	まじめに、そして積極的に取り組む受講態度を評価する				
	小テスト						
	定期試験	60	授業の内容全般についての理解度を評価する（レポート形式）				
	レポート	20	小レポートの内容を通して、毎回の授業の理解度を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	oukubo@shonanhouse.com（大久保）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	社会的養護の概念とその現状	大久保	講義 演習を進めるためのグループ編成	当日の授業内容の振り返り	60
2 /	児童の権利について 保育士の倫理及び責務について 児童虐待の現状について	大久保	講義及びグループでの演習 DVD視聴	当日の授業内容の振り返り	60
3 /	施設養護の特性及び実際について 里親制度の特性及び実際について	大久保	グループでの演習及び講師 の解説 DVD視聴	当日の授業内容の振り返り	60
4 /	施設における日常生活支援に関する事例分析 について(個別支援計画立案の実際)	大久保	グループでの演習及び講師 の解説	当日の授業内容の振り返り	60
5 /	施設における自立支援に関する事例分析につ いて(記録及び評価の実際)	大久保	グループでの演習及び講師 の解説	当日の授業内容の振り返り	60
6 /	保育士の専門性に関わる知識・技術とその応 用について	大久保	グループでの演習及び講師 の解説 DVD視聴	当日の授業内容の振り返り	60
7 /	今後の展望について 施設の小規模化・家庭養育優先の原則・地域 とのかかわりについて	大久保	講義	当日の授業内容の振り返り	60
8 /	まとめ	大久保	講義	当日の授業内容の振り返り	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児教育保育学入門	三上 佳子(専 任) 松村 都子(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
							○
Introduction to preschool education childcare theory							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所実習・施設実習・教育実習に対する意識を高めることができる。 ・ 保育士・幼稚園教諭・社会福祉施設職員という職業への興味・関心を持つようになる。 ・ 実習の楽しさ、厳しさを前期のうちから感じ、日々の学習が実習に直結していることを実感している。 ・ 保育者・援助者を目指す者として基本的な視点を学ぶことができる。 ・ 乳幼児の発達について理解することができるようになる。 							
授業の内容 <p>幼児教育保育施設の現場経験のある教員による講義・演習を行う。</p> <p>実習とは、「観て理解」「体験しながら理解」することによって、より深く保育にかかわっていくためのものである。保育・教育実習入門では、保育者、保育職を目指すにあたって不可欠な保育実習、教育実習の基本を学ぶ2年間の実習スケジュールをはじめ、さまざまな保育現場や実習に臨む姿勢・態度、子どもの姿や保育者の姿について具体的に理解していく。</p>							
教科書	なし						
参考書	幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説						
担当者からのメッセージ	最初の実習が行われるのは学年末であるが、この授業を通じて、実習への心構えを持ち、早めの準備に取り掛かり、余裕をもって実習に臨めるようにしてほしい。 そのために、学生の皆さんには、実習に対して、疑問や不安があるときは、積極的に教員に質問をし早期に解決してほしい。本授業では、子どもを理解するために映像資料を用いて、子どもの遊びや生活について具体的に学ぶ。併せて保育者の関わりについても考える。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された記録用紙・課題は、添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	小テスト	40	授業の理解度の確認のために確認テストを実施し、評価する				
	定期試験						
	レポート	40	毎時授業後の小レポート、漢字テスト、指導案他				
	その他	10	名札の制作				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 松村研究室 火曜日 12時15分～12時50分 事前に連絡すること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matumura@sumire.ac.jp (松村)						
教員相互授業参観	公開する（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション／本学の実習の流れ実習に関する調査とその記入方法 基本的ルール、心構え	三上 松村	講義	復習 実習の流れについて再確認し、2年間の見通しを立てる	90
2 /	幼児教育・保育とは／遊びの楽しさの体験	三上 松村	講義 演習	講義内容を復習する	60
3 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(1) 0歳児 1歳児	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
4 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(2) 2歳児 3歳児	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
5 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(3) 3歳児 4歳児 特別な支援を必要とする子ども	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
6 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(4) 5歳児 小学校との接続	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
7 /	保育環境についての理解	三上 松村	講義・演習・映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
8 /	保育環境についての理解 手遊び・絵本の読み聞かせ等を体験・実践	三上 松村	講義・演習	復習 体験をもとに、手遊びや絵本を準備する	60
9 /	保育所の1日を理解 幼稚園の1日を理解 認定こども園の1日を理解	三上 松村	講義・映像資料	復習 保育所・幼稚園・認定こども園の1日についてのレポートを仕上げる	60
10 /	観察の方法と書き方についての学び	三上 松村	演習・映像資料	復習 映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
11 /	保育参加をし、子どもと遊びながら観察する中で、子どもの興味・関心や気持ちの理解	三上 松村	講義・学外授業(体験学習)	保育参加のレポートを完成させる	90
12 /	保育参加をし、子どもと遊びながら観察する中で、子どもの興味・関心や気持ちの理解	三上 松村	講義・学外授業(体験学習)	保育参加のレポートを完成させる 予習 絵本や手遊びを準備する	90
13 /	絵本の読み聞かせ等の指導案を作成する。 (ICT活用)	三上 松村	講義・演習	指導案を完成させる	90
14 /	絵本の読み聞かせ等の指導案をもとに実践	三上 松村	演習	実践の振り返りをまとめる	90
15 /	授業のまとめ 保育者・援助者を目指すためにー保育者の基本姿勢ー 確認テスト	三上 松村	講義・確認テスト	予習 これまでの学びを復習しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導 I (①)	三上 佳子(専 任)・永久 欣也(専 任)	1年次	後期	2	演習	選択	○
	保田 恵莉(専 任)・松村 都子(専 任)						実務経験
	松井 典子(専 任)						○
Guidance with Child-care Practice I							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・保育所および福祉施設の役割や機能を理解し、実習への明確な目的をもつことができる。 ・保育所実習 I に向けて記録・指導案の書き方や教材理解の基本を身につける。 ・実習を振り返り、学びや反省から自己の課題を明確にすることができる。							
授業の内容 施設や幼児教育保育分野で実務経験をもつ教員も指導を担当する。 学外実習（保育所・施設実習）に向けた事前・事後指導を行う。実習の意義や目的、実習に対する心構えや厳守すべき事項（守秘義務等）について学ぶ。また実習記録や指導案の書き方の基本を学ぶ。実習課題および実習記録・指導案は添削による個別指導を行う。 保育所実習ならびに施設実習を行う者には必修の科目である。（この科目の履修なく実習にはいけない）							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	学外実習（保育所実習・施設実習）を行うための必修授業である。実習を円滑に進められるように、知識や心構えを持ち、また、自らの課題を明確にし、実践をとおして、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を目指せるように取り組んでください。こうした観点で皆さんの「受講態度」を測ります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	施設実習 I に関する「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」は、担当教員（永久・保田）が添削したうえで清書する。清書には必ず検印を受けること。 保育所実習 I に関する「私の課題」は、担当教員（三上・松村・松井）が添削したうえで清書する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	大学での事前事後指導記録				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	受講態度を含めた授業への参加度・積極性（20%）、提出課題（50%）				
自由記載							
オフィスアワー	<small>永久研究室 月・火・水曜日 12時20分～12時50分 保田研究室 火・水曜日 12時20分～12時50分 三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 松井研究室 水曜日 12時20分～12時50分 松村研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前に予約を要すること</small>						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matsumura@sumire.ac.jp (松村) n-matsui@sumire.ac.jp (松井) e-yasuda@sumire.ac.jp (保田)						
教員相互授業参観	原則として公開するが、施設実習に関する部分では、学生への個別指導が中心となることがあるため、公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	全体オリエンテーション	全員	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み等を説明する	実習に向けた意義・目的・実習生としての心構えを持ち、授業に臨む	90
2 /	施設実習オリエンテーション	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
3 /	保育所実習Ⅰに向けて	三上松村松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
4 /	施設実習記録簿の使い方	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
5 /	保育所実習記録簿の使い方 実習園への電話のかけ方 課題設定	三上松村松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
6 /	<全体授業> 観察記録・指導案の基礎理解	全員	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返し、観察記録の書式や指導案作成時の「ねらい」について理解を深める	90
7 /	施設実習Ⅰにおける「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」の書き方	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
8 /	保育所実習における記録の書き方、子どもの姿、保育の配慮・考察の書き方	三上松村松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
9 /	<全体授業> 保育所：実習課題の明確化と書き方 班長決定	全員	講義 記録用紙記入	「私の課題」を作成する	90
10 /	<全体授業> 施設：班長決定、グループワーク	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料への書き込みを再確認しておく	60
11 /	施設実習Ⅰにおける実習記録簿の書き方 各書類の完成に向けた作業	永久保田	講義 個人ワーク	書類を完成させる	180
12 /	保育所指導案の書き方・作成	三上松村松井	講義	説明を受けた内容をまとめる	90
13 /	保育所直前指導	三上松村松井	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
14 /	施設直前指導	永久保田	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
15 /	保育所・施設実習直後指導	全員	実習の振り返り	自身の実習を振り返り、実習Ⅱへとつなげる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導 I (②)	三上 佳子(専 任)・永久 欣也(専 任)	1年次	後期	2	演習	選択	○
	保田 恵莉(専 任)・松村 都子(専 任)						実務経験
	松井 典子(専 任)						○
Guidance with Child-care Practice I							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・保育所および福祉施設の役割や機能を理解し、実習への明確な目的をもつことができる。 ・保育所実習 I に向けて記録・指導案の書き方や教材理解の基本を身につける。 ・実習を振り返り、学びや反省から自己の課題を明確にすることができる。							
授業の内容 施設や幼児教育保育分野で実務経験をもつ教員も指導を担当する。 学外実習（保育所・施設実習）に向けた事前・事後指導を行う。実習の意義や目的、実習に対する心構えや厳守すべき事項（守秘義務等）について学ぶ。また実習記録や指導案の書き方の基本を学ぶ。実習課題および実習記録・指導案は添削による個別指導を行う。 保育所実習ならびに施設実習を行う者には必修の科目である。（この科目の履修なく実習にはいけない）							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	学外実習（保育所実習・施設実習）を行うための必修授業である。 実習を円滑に進められるように、知識や心構えを持ち、また、自らの課題を明確にし、実践をとおして、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を目指せるように取り組むこと。 こうした観点で「受講態度」を測る。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	施設実習 I に関する「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」は、担当教員（永久・保田）が添削したうえで清書する。清書には必ず検印を受けること。 保育所実習 I に関する「私の課題」は、担当教員（三上・松村・松井）が添削したうえで清書する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	大学での事前事後指導記録				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	受講態度を含めた授業への参加度・積極性（20%）、提出課題（50%）				
自由記載							
オフィスアワー	<small>永久研究室 月・火・水曜日 12時20分～12時50分 保田研究室 火・水曜日 12時20分～12時50分 三上研究室 火曜日 12時20分～12時50分 松井研究室 火曜日 12時20分～12時50分 松村研究室 火曜日 12時20分～12時50分 事前予約を要すること</small>						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) m-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matsumura@sumire.ac.jp (松村) n-matsui@sumire.ac.jp (松井) e-yasuda@sumire.ac.jp (保田)						
教員相互授業参観	原則として公開するが、施設実習に関する部分では、学生への個別指導が中心となることがあるため、公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	全体オリエンテーション	全員	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み等を説明する	実習に向けた意義・目的・実習生としての心構えを持ち、授業に臨む	90
2 /	保育所実習Ⅰに向けて	三上 松村 松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
3 /	施設実習オリエンテーション	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
4 /	保育所実習記録簿の書き方 実習園への電話のかけ方 課題設定	三上 松村 松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
5 /	施設実習実習記録簿の使い方	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料をもとに、実習記録ファイルを読む	60
6 /	<全体授業> 観察記録・指導案の基礎理解	全員	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返し、観察記録の書式や指導案作成時の「ねらい」について理解を深める	90
7 /	保育所実習における記録の書き方、子どもの姿、保育の配慮・考察の書き方	三上 松村 松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
8 /	施設実習Ⅰにおける「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」の書き方	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
9 /	<全体授業> 保育所：課題の明確化と書き方 班長決定	全員	講義 記録用紙記入	「私の課題」を作成する	90
10 /	<全体授業> 施設：班長決定、グループワーク	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料への書き込みを再確認しておく	60
11 /	保育所指導案の書き方 指導案作成	三上 松村 松井	講義 指導案の計画と作成	指導案を完成させる	180
12 /	施設実習Ⅰにおける実習記録簿の書き方 各書類の完成に向けた作業	永久 保田	講義 個人ワーク	説明を受けた内容をまとめる	90
13 /	保育所直前指導	三上 松村 松井	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
14 /	施設直前指導	永久 保田	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
15 /	保育所・施設実習直後指導	全員	実習の振り返り	自身の実習を振り返り、実習Ⅱへとつなげる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育所実習 I	三上 佳子(専任) 松村 都子(専任) 松井 典子(専任)	1年次	後期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
Child-care Practice at Nursery School I							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・ 保育所の役割・機能や保育士の専門性について実践を通して理解する。 ・ 理論と実践(体験)を往復しながら主体的に保育について理解する。							
授業の内容 保育所実習 I を通して保育所の役割や機能、保育者の職務(子どものかかわり、保育の実際)の基本を理解する。また子どもの姿を体験的に学ぶ。実習記録・指導案の書き方を実践的に学ぶ。 観察実習：保育の流れや子どもへのかかわりについて観察を通して学ぶ。 参加実習：保育者の指導を受けながら子どもと積極的にかかわることを通して学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	「保育実習指導 I」が不合格である者、「保育実習 I において厳守すべきルール」や実習に関する記録などの提出期限等を守れない者の実習を認めない。準備を整えて実習に備えること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	実習にあたり、実習先と連絡を取り巡回訪問指導を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習園の総合評価(50%)、提出物(50%)				
	自由記載						
オフィスアワー	事前にメール等で予約を取ること 松井研究室 火 12時20分～12時50分 三上研究室 水 12時20分～12時50分 松村研究室 火 12時20分～12時50分						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井) y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matsumura@sumire.ac.jp (松村)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(生DP1)【専門知識と教養】 豊かな生活を実現するために必要な基礎的専門知識をもち、その上で生活全般にわたる広い視野にもとづいて考える能力。 (生DP2)【専門性をいかす技能】 最新の情報技術を理解し、それを生活分野に応用できる専門的スキルと実践技術を修得し、生活の向上に積極的な提案ができる能力。 (生DP3)【問題提起・解決能力】 日常生活全般を科学的・実践的に探求し、多様な現代社会を生活という観点から総合的にとらえ、その解決に向けて独創性のある提案ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実習期間：2月及び3月中の10日間	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	600
2 /	実習先：本学指定の保育所	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	180
3 /	実習内容：1 観察・参加実習を中心とし、保育者に準ずる立場で実践的に学び、実習ノートに記録する	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	180
4 /	実習内容：2 実習園の指導のもとで部分実習を行う	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	180
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
施設実習 I	永久 欣也(専 任) 保田 恵莉(専 任)	1年次	後期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
Practice at Social Welfare Institution I							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・社会福祉施設の役割・機能や保育士の専門性について、実践を通じて学ぶ。 ・施設養護に関わる保育士として、科学的なものの方見方・考え方に基いた問題把握と支援技術を習得するためのきっかけをつかむことができる。 ・社会福祉施設が抱えている課題について現地での実践を通じて学ぶ。							
授業の内容 社会福祉施設について精通する教員が主担当である。 具体的には各実習施設により、実習プログラムは異なることがあるが、おおむね以下の内容を学習することになる。 ・児童福祉施設等の役割や機能の理解 ・観察や利用者とのかかわりを通じた子ども（利用者）の理解 ・既習の教科の内容を踏まえた、利用者の保育・支援についての総合的に学習 ・家族や地域との関わりの実際 ・支援計画、観察、記録及び自己評価等について ・保育士の業務内容や職業倫理について なお、この科目は「保育実習指導 I」と連動している。 実習期間：2月ないしは3月の10日間程度 実習先：本学指定の社会福祉施設 実習形態：配属先に宿泊して行う場合と、自宅から通う場合とがある。							
教科書	『五訂 福祉施設実習ハンドブック』 岡本幹彦ほか（みらい） 価格（本体2,100円＋税）						
参考書	保育実習指導 I の授業において随時紹介していきます。						
担当者からのメッセージ	実習では「謙虚に現実から学ぶ」ことを大切に、おおいに学んでください。 成績評価について： 実習日程をすべてクリアした学生について、施設評価・記録・課題に対する取り組み状況を踏まえて総合的に評価を行う。 「保育実習指導 I」が不合格あるいは「実習に関するルール」に著しく抵触する者、期日までに理由なく実習記録等の提出物を出せなかった者については、単位を認めないため重々注意すること。 配付資料を無くさないように注意すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習事後指導の時間に、実習の成果・課題を振り返る時間を設ける。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	小テスト						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習先からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可 保田研究室 火・水・金曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp（永久） e-yasuda@sumire.ac.jp（保田）						
教員相互授業参観	福祉施設への配属実習のため非公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	10日間の実習プログラムは、実習先により異なる	施設先指導員 永久 保田	配属実習	法定の実習時間	0
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育リーダー論 I	三上 佳子(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Childcare leader theory I							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者としての成長過程のイメージや見通しをもち、自らのキャリア選択を行う際に役立てることができる。 ・新規採用の時期に、実践的指導力を学び、保育の楽しさを理解している。 ・中堅の時期に、学級経営や保護者対応などの専門性を磨き、コミュニケーション力を高めることができる。 ・保育主任の時期に、人材育成の視点をもちリーダーシップを学ぶことを理解している。 ・園長の時期に、広い識見と自らの保育観をもとに、園全体を運営していくことを理解している。 							
授業の内容 <p>幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、保育リーダー論 I を指導する。</p> <p>園長・主任・若手教員など保育経験者をゲストティチャーとして招聘し、新規採用時のエピソードを含む現場での多様な経験や身につけてきた力について講話をいただく。事前にゲストティチャーへの質問を考えておく、講師に自分の学んだことを伝えるなど、主体的に受講できるようにする。また「保育の楽しさ」「専門性を磨き、コミュニケーション力を高める」「リーダーシップを発揮する」などキャリアごとに身につけたいポイントを理解するとともに、保育者としての成長過程のイメージや見通しがもてるようにする。本授業は、アドバンスクラスの学生のみが履修できる保育士選択必須科目である。</p>							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	この時期に携わる保育者が自ら学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質・能力を生涯にわたって高めていくことが必要です。新規採用時に「子どもは好きだけど、保育は難しい」「保育者としてやれるのか」など不安を感じていることを、保育経験者がどのように乗り越え、どのような力を身につけていったのかについて具体的に学ぶ機会です。現場の保育経験者を招聘しますので、積極的に学ぼうとする授業態度が必要です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された記録用紙・課題は添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	小テスト						
	定期試験						
	レポート	60	振り返りシート提出				
	その他	20	講師への質問シート課題				
	自由記載						
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時20分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育者としての成長過程のイメージや見通しをもつ。なりたい保育者像を考える。	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
2 /	新規採用の時期の悩みを解決する力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
3 /	新規採用の保育者にとって必要な自己肯定感・折れない心(ゲストティーチャーから学ぶ) 新規採用時の保育者が身につけたいレジリエンス・コンピテンシー等(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
4 /	中堅の時期に身につけたい経験とコミュニケーション力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
5 /	保育主任の時期に身につけたい経験と人材育成力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
6 /	園長の時期に身につけたい経験と園の運営力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
7 /	人事担当経験者からみたキャリアステージに応じて求められる保育者像(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
8 /	保育リーダー論 I の振り返り	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員教育保育職特別講義Ⅰ	久米 央也(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	実務経験
Special Lecture for Kindergarten Nursery Teacher Recruitment Examination Ⅰ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公立の幼稚園、保育所、認定こども園への就職を目指し、採用試験に合格するための基礎学力を身につける。 ・採用試験における主要科目の出題傾向を理解する。 ・判断推理、数的数理の基本問題を解くことができる。							
授業の内容 公立の幼稚園、保育園、認定こども園の採用試験における出題傾向を学び、主要科目の基礎学力を身につける。主に判断推理、数的数理の例題を提示し、解説を行う。その後、練習問題を解いていき、理解を深めていく。なお、毎回課題が出るので、その課題を次の授業までにしっかりとこなしていくことが求められる。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	公務員試験まで、時間をかけてじっくりと繰り返し取り組むことが大切である。合格したいという熱意を持って受講すること。また、毎回出す課題については、次の時間までに必ず取り組むことを心がける。自分の知識の幅を広げること、思考力を深めることは、合格、不合格にかかわらず自分の人生をより豊かにすることに繋がる。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業の冒頭に前回の課題から小テストを毎回行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	積極的に授業に参加し、理解を深めようとしているかを評価する				
	小テスト	30	毎時間、確認テストを実施し、学んだことが理解できているかを評価する				
	定期試験	50	授業で学んだことが理解できているかを評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 基礎学力の確認 算数・数学の復習	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
2 /	数的推理1 計算、数列、約数・倍数	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
3 /	数的推理2 損益算(原価、定価、売価、利益)	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
4 /	数的推理3 代金精算、金銭算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
5 /	数的推理4 年齢算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
6 /	数的推理5 鶴亀算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
7 /	数的推理6 速さの問題(速さ、距離、時間)	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
8 /	数的推理7 旅人算(出会い算・追い越し算)	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
9 /	数的推理8 通過算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
10 /	数的推理9 濃度算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
11 /	数的推理10 濃度算応用問題	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
12 /	数的推理11 仕事算、水槽算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
13 /	数的推理12 場合の数、順列、組合せ 経路問題	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
14 /	判断推理1 命題、集合、嘘つき問題	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
15 /	判断推理2 対応関係、位置関係、暗号 まとめ	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員特講 I (幼教)	長谷川正雄(非常勤)	1年次	前期集中	1	演習	-	実務経験
Special Lecture of Civil Servant I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公務員試験における重要科目の出題傾向を理解できる。 ・公務員試験における重要科目の入門的な内容を習得する。							
授業の内容 公務員試験は出題科目が多いことが特徴の一つである。しかし必ずしも全ての科目を学習しないと合格できないわけではない。合格するにはまず出題数が最も多い一般知能系科目(数的推理、判断推理)を理解することが重要である。公務員特講 I では、この重要科目の出題傾向を把握するとともに、入門的な知識の取得と解法の理解を図る。(以下の授業計画における科目の順番は変更となる場合がある)							
教科書	なし						
参考書	教科書：基礎力養成・完成テキスト(税込1,800円/授業初日に教室にて販売する)						
担当者からのメッセージ	数的推理や判断推理は反復学習をしないと身につけません。しっかりと復習するようにしましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業中に学習した範囲の練習問題にも取り組み、その解説、フィードバックを行う。また、定期試験はその練習問題の知識や解法が、身につけているか確認する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	日々の授業へ積極的・意欲的に参加しているか受講態度を評価する				
	小テスト						
	定期試験	50	授業内で扱った範囲から出題し、公務員試験における知識や解法が身についたか確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	数的推理 1 方程式	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
2 /	数的推理 2 割合	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
3 /	数的推理 3 速さ	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
4 /	数的推理 4 確率	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
5 /	数的推理 5 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
6 /	数的推理 6 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
7 /	数的推理 7 整数	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
8 /	資料解釈1	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
9 /	判断推理 1 順序関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
10 /	判断推理 2 対応関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
11 /	判断推理 3 論理	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
12 /	判断推理 4 位置関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
13 /	判断推理 5 数量関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
14 /	空間把握 1	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
15 /	空間把握 2	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員特講Ⅱ (幼教)	長谷川正雄(非常勤)	1年次	後期集中	1	演習	-	実務経験
Special Lecture of Civil Servant II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公務員試験の重要科目の出題傾向を理解できる。 ・公務員試験における重要科目の基礎的な内容を習得する。							
授業の内容 公務員試験は出題科目が多いことが特徴の一つである。しかし必ずしも全ての科目を学習しないと合格できないわけではない。合格するにはまずは出題数が最も多い一般知能系科目（数的推理、判断推理）を理解することが重要である。公務員特講Ⅱでは、この重要科目の出題傾向を把握するとともに、基礎的な知識の取得と解法の理解を図る。（以下の授業計画における科目の順番は変更となる場合がある）							
教科書	なし						
参考書	教科書：オープンセサミ参考書「一般知能」（税込み1,700円／授業初日に教室にて販売する）						
担当者からのメッセージ	数的推理や判断推理は反復学習をしないと身につけません。しっかりと復習するようにしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に学習した範囲の練習問題にも取り組み、その解説、フィードバックを行う。 また、定期試験はその練習問題の知識や解法が、身についているか確認する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	日々の授業へ積極的・意欲的に参加しているか受講態度を評価する				
	小テスト						
	定期試験	50	授業内で扱った範囲から出題し、公務員試験における知識や解法が身についたか確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	数的推理 1 方程式	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
2 /	数的推理 2 割合	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
3 /	数的推理 3 速さ	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
4 /	数的推理 4 確率	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
5 /	数的推理 5 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
6 /	数的推理 6 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
7 /	数的推理 7 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
8 /	資料解釈 1	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
9 /	判断推理 1 順序関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
10 /	判断推理 2 対応関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
11 /	判断推理 3 論理	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
12 /	判断推理 4 位置関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
13 /	判断推理 5 数量関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
14 /	空間把握 1	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
15 /	空間把握 2	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	60
/	定期試験				